預言者伝（スィーラ）

第 17 巻

諸王への書簡

預言者の印章と諸王への呼びかけ



HJ CHE ALIM HJ CHE HARON
AK (KELANTAN)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

預言者伝（スィーラ）

第 17 巻

諸王への書簡

「ムハンマド・ラスールッラー」の印章と、カイサル、キスラー、ナジャーシーへの呼びかけ — クルアーンと真正なハディースに基づいて

وَمَآ أَرۡسَلۡنَٰكَ إِلَّا كَآفَّةٗ لِّلنَّاسِ بَشِيرٗا وَنَذِيرٗا وَلَٰكِنَّ أَكۡثَرَ ٱلنَّاسِ لَا يَعۡلَمُونَ

「われは、全人類への吉報の伝達者また警告者として、あなたを遣わした。だが人びとの多くは、それが分らない。」

サバア章 34:28

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

その使徒を全人類への吉報の伝達者、また警告者として遣わし、その呼びかけを王たちの宮殿にまで届けられたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけその書簡を運んだ使者たちに祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『預言者伝（スィーラ）』第 17 巻は、アッラーの使徒 ﷺ が王たちに送った宣教の書簡を語ります。「ムハンマド・ラスールッラー」の銀の指輪、アブー・スフヤーンに問いただしたヘラクレイオス、書簡を引き裂いたキスラー、葬儀の礼拝がささげられたナジャーシー、エジプトのアル＝ムカウキス、そしてアラブの王たちです。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、**古い隊商の道**で、**ナツメヤシのオアシス**から始まり、**夜明け**の広大な砂漠の平原を横切って**いくつもの方向に分かれて**います。それぞれの道は**異なる地平線**へと向かいます。北の**霧に包まれた山々**へ、**輝く海岸**へ、そして地平線の**遠い町のドーム**へと。

枝分かれする道は、アッラーの使徒 ﷺ の書簡をローマ、ペルシャ、アビシニア、エジプト、アラブの国々へ運んだ使者たちの旅を表しています — スィーラ書によれば、ある一日に六人の使者が六つの方向へ出発しました。ナツメヤシのオアシスは、呼びかけが始まった町マディーナです。すべての地平線を照らす夜明けの光は、アッラーの御言葉を思い起こさせます：「われは、全人類へ...あなたを遣わした」（サバア章 34:28）。

下部の紺色の帯は、**細い金色の線**に縁取られ、著者名が記される場所です。

目次

諸王への書簡 — はじめに

1. フダイビーヤの後：宣教の扉が開く — スィーラ書

2. 全人類への使徒 — サバア章 34:28；『サヒーフ・ブハーリー』335

3. 万有への慈悲 — 預言者章 21:107

4. 「ムハンマド・ラスールッラー」の銀の指輪 — 『サヒーフ・ブハーリー』65

5. すべての支配者への書簡 — 『サヒーフ・ムスリム』1774

6. 六人の使者、六つの方向 — 図；スィーラ書

7. ヘラクレイオスとローマの勝利 — ビザンチン章 30:2–4；『サヒーフ・ブハーリー』2941

8. ヘラクレイオスの宮廷のアブー・スフヤーン — 『サヒーフ・ブハーリー』7

9. ヘラクレイオスの十の問い — 『サヒーフ・ブハーリー』7

10. 「イスラームに入りなさい、そうすれば安全です」 — イムラーン家章 3:64

11. ヘラクレイオスとその王座 — 『サヒーフ・ブハーリー』7

12. 書簡を引き裂いたキスラー — 『サヒーフ・ブハーリー』4424

13. イエメンのバーザーンとキスラーの死 — スィーラ書

14. 「かれの後にキスラーはいない」 — 『サヒーフ・ブハーリー』3121

15. ナジャーシー：誰も虐げない王 — 食卓章 5:83；スィーラ書

16. 一人の王のための葬儀の礼拝 — 『サヒーフ・ブハーリー』1245、3877

17. エジプトの長官アル＝ムカウキス — スィーラ書

18. アラブの王たち：ガッサーン、ヤマーマ、バハレーン、オマーン — スィーラ書

19. スマーマ・ブン・ウサール：品性にとらえられた指導者 — 『サヒーフ・ブハーリー』4372

20. 英知をもって招きなさい — 蜜蜂章 16:125；イムラーン家章 3:20

21. 諸王への書簡の伝承の出典 — 図；表

22. アッラーの使徒ﷺの使者たち：かれらは誰か — 表；『サヒーフ・ブハーリー』3634、93、3053；『スナン・アビー・ダーウード』2761

23. 支配者たちからの贈り物 — 『サヒーフ・ブハーリー』3161、2615；『スナン・アビー・ダーウード』3057

24. 書記たちと書簡の言語 — 『ジャーミウ・ティルミズィー』2715；『サヒーフ・ムスリム』2501

25. 今日発見されている書簡の写本 — 歴史；真正性は議論あり

26. 諸王への書簡の年表 — 表

27. 諸王への書簡についてのよくある質問 — 12 の質問

28. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

諸王への書簡

『預言者伝（スィーラ）』第 16 巻はハイバルの戦いを語り、北からの脅威が終わったときのことを描きました。いま、**フダイビーヤの休戦**が南の境を守り、ハイバルが北の境を守るなか、アッラーの使徒 ﷺ は宣教の新しい段階に入られます。イスラームの呼びかけを**アラビア半島の外へ**、世界の王たちと支配者たちへ届けることです。

使徒は書簡に押印するために「ムハンマド・ラスールッラー」と刻んだ**銀の指輪**を作り、教友たちを、ローマ皇帝**ヘラクレイオス**、ペルシャ皇帝**キスラー**、アビシニア王**ナジャーシー**、エジプトの長官**アル＝ムカウキス**、そしてアラブの王たちのもとへ遣わされました。王たちの応じ方はそれぞれでした ― 敬意を示した者もいれば、書簡を引き裂いた者もおり、信仰した者もいました。本書は、クルアーンと真正なハディースに基づいてそれらの物語を語ります。

諸王への書簡の年表（ヒジュラ暦6〜9年）

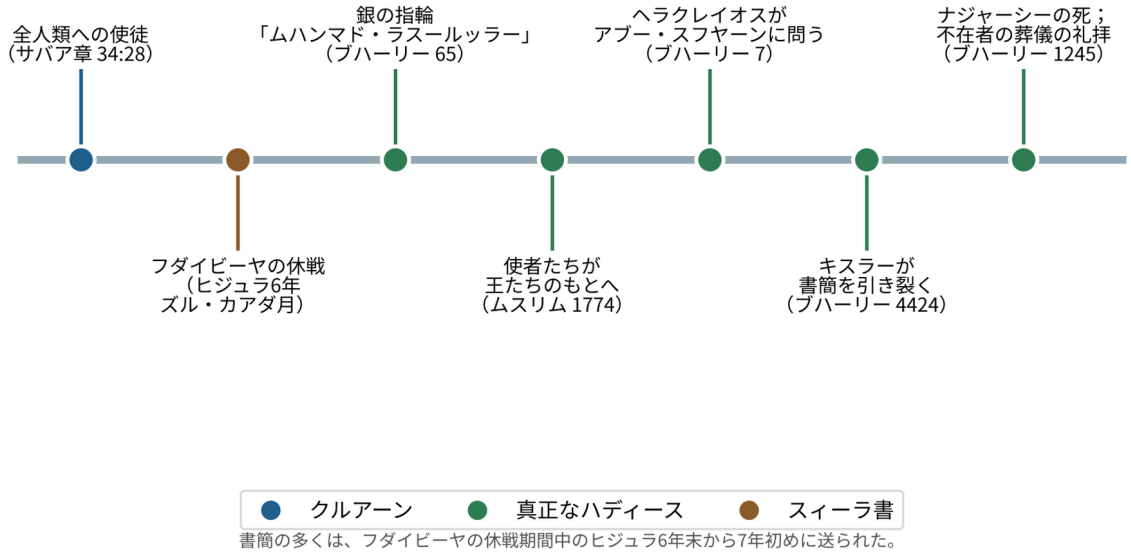


図 1：諸王への書簡の年表。

注：本書のクルアーンの節の日本語訳は三田了一訳による。各ハディースの等級はハディースの枠内に示している。スィーラ書からの情報は茶色の「スィーラの注」の枠に入れ、歴史的事実には出典のリンクを付している。

フダイビーヤの後：宣教の扉が開く

ヒジュラ**6年ズル・カアダ月**のフダイビーヤの和約は、はじめは敗北のように見えましたが、アッラーはそれを「**明らかな勝利**」と名づけられました（勝利章48:1）。その勝利の理由の一つは**平和**でした。約束された十年の間、人びとは戦いを恐れずに行き来し、商売をし、話し合うことができました。この平和の中で、宣教は急速に広がったのです。

イブン・ヒシャームが伝えるところでは、イマーム・アッ＝ズフリーは、フダイビーヤ以前に**イスラームにおいてこれより大きな勝利はなかった**と述べました。戦いが止むと人びとは出会ってイスラームについて語り合い、その後の二年間に、それ以前にイスラームに入った人数よりも多くの人びとが入信したからです。

スィーラの注：書簡が送られた時期

イブン・サアドは『**大伝記集（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）**』で、**ヒジュラ 6 年の終わり**にフダイビーヤから戻った後、アッラーの使徒 ﷺ が王たちに書簡を送られ、**ヒジュラ 7 年ムハッラム月**に六人の使者が同じ日に出発したと伝えています。オマーンの王たちへの書簡など一部は、その後ヒジュラ8年に送られました。

これらの日付は**スィーラ書の情報**です。真正なハディースから確かなことは、ヘラクレイオスへの書簡が**休戦期間中**、すなわちアッラーの使徒 ﷺ とクライシュとの休戦の間に送られたということです（『サヒーフ・ブハーリー』7）。

参照：

イブン・サアド『大伝記集』；イブン・ヒシャーム『預言者伝』；『サヒーフ・ブハーリー』7。https://sunnah.com/bukhari:7

教訓：**平和は宣教の道を開きます。**イスラームは剣によって広まったのではなく、人びとが聞き、考え、選ぶ機会を与えられたことによって広まりました。道が開かれると、アッラーの使徒 ﷺ はすぐにそれを用いて、最も遠くにいる人びとにまで啓示を届けられました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

全人類への使徒

以前の預言者たちは自分の民にだけ遣わされたのに、なぜアッラーの使徒 ﷺ はローマとペルシャの王たちに書簡を書かれたのでしょうか。その答えはクルアーンにあります：

「われは、全人類への吉報の伝達者また警告者として、あなたを遣わした。だが人びとの多くは、それが分らない。」『イブン・カスィール注釈』34:28。

アッラーはまた、使徒にこう宣言するよう命じられました：**「人びとよ、わたしはアッラーの使徒として、あなたがた凡てに遣わされた者である」**『イブン・カスィール注釈』7:158。

アッラーの使徒 ﷺ ご自身も、この特別な点を、それ以前の預言者たちには与えられなかった**五つのこと**の一つとして挙げられました：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 335 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ سِنَانٍ، قَالَ حَدَّثَنَا هُشَيْمٌ، ح قَالَ وَحَدَّثَنِي سَعِيدُ بْنُ النَّضْرِ، قَالَ أَخْبَرَنَا هُشَيْمٌ، قَالَ أَخْبَرَنَا سَيَّارٌ، قَالَ حَدَّثَنَا يَزِيدُ ـ هُوَ ابْنُ صُهَيْبٍ الْفَقِيرُ ـ قَالَ أَخْبَرَنَا جَابِرُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ أُعْطِيتُ خَمْسًا لَمْ يُعْطَهُنَّ أَحَدٌ قَبْلِي نُصِرْتُ بِالرُّعْبِ مَسِيرَةَ شَهْرٍ، وَجُعِلَتْ لِيَ الأَرْضُ مَسْجِدًا وَطَهُورًا، فَأَيُّمَا رَجُلٍ مِنْ أُمَّتِي أَدْرَكَتْهُ الصَّلاَةُ فَلْيُصَلِّ، وَأُحِلَّتْ لِيَ الْمَغَانِمُ وَلَمْ تَحِلَّ لأَحَدٍ قَبْلِي، وَأُعْطِيتُ الشَّفَاعَةَ، وَكَانَ النَّبِيُّ يُبْعَثُ إِلَى قَوْمِهِ خَاصَّةً، وَبُعِثْتُ إِلَى النَّاسِ عَامَّةً.

訳：

ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما は、預言者 ﷺ が次のように言われたと伝えています：**「私には、私以前の誰にも与えられなかった五つのことが与えられた。私は一か月の道のりの距離まで（敵の心に生じる）畏怖によって助けられた。大地は私のためにモスクとされ、清めの手段とされた。だから私のウンマの誰であれ、礼拝の時が来たならば礼拝しなさい。戦利品は私には許されたが、私以前の誰にも許されなかっ**

た。私には執り成し（シャファーア）が与えられた。そして以前の預言者は自分の民にだけ遣わされたが、私はすべての人びとに遣わされた。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・スィナーン ← フシャイム；またサイード・ブン・アン＝ナドル ← フシャイム ← サイヤール ← ヤズィード・アル＝ファキール ← ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』タヤンムムの書、ハディース第335番；第438番にも；『サヒーフ・ムスリム』第521番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:335

このハディースの教訓

このハディースは、王たちへの書簡が単なる政治的戦略ではなく、**預言者としての務めの一部**であったことを説明しています。預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ はイスラエルの子孫とフィルアウンに、預言者イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ はイスラエルの子孫に、預言者フード عَلَيْهِ السَّلَامُ はアード族に遣わされました — しかし預言者ムハンマド ﷺ は、どこにいようと、審判の日に至るまで、**すべての人間**に遣わされたのです。

それゆえ、状況が許すと、使徒は王たちがマディーナに来るのを待たれませんでした。かれらが理解する言葉で、かれらが尊ぶ礼儀をもって、**かれらのもとへ呼びかけを送られた**のです。

五つの特別な点 — アッラーの使徒 ﷺ

特別な点	その意味
一か月の道のりの距離まで畏怖によって助けられた	敵は出会う前に恐れる
大地がモスクとされ、清めの手段とされた	どこでも礼拝できる；タヤンムム
戦利品が許された	このウンマへの慈悲
執り成し（シャファーア）	審判の場での大いなる執り成し
すべての人びとに遣わされた	諸王への書簡の土台

第二の特別な点 — **大地がモスクとされたこと** — は普遍的な使命と深く結びついています。すべての人びとに遣わされた宗教には、**どこでも**行える礼拝が必要です。ローマの宮殿でも、アラビアの砂漠でも、アビシニアの森でも、ヌサンタラの島々でも。ムスリムは礼拝のために神殿や特別な場所を必要としないのです。

教訓：イスラームは一つの民族の宗教ではありません。今日の東南アジアのムスリムは、この**普遍的な使命の実り**です — 王たちへの書簡に始まり、その後商人や宣教者によって世界の隅々へと運ばれた呼びかけの実りなのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

万有への慈悲

アッラーは、預言者ムハンマド ﷺ を遣わされたことを、すべてを包む一つの言葉で表されました：「**われは只万有への慈悲として、あなたを遣わしただけである。**」『イブン・カスィール注釈』21:107。

王たちへの書簡は脅しではなく**慈悲**でした。使徒はかれらに**安全**であるよう呼びかけ、信仰する啓典の民には**二倍の**報奨を約束し、もし背くならば、自分たちのせいで真理から妨げられた民の罪を負うことになると戒められました。これは征服者の命令ではなく、人を思いやる者の忠告です。

王と民への慈悲

当時の王たちは、民の宗教について絶対的な権力を持っていました。王が真理を受け入れれば民は自由にそれに従うことができ、王が拒めば民はしばしば妨げられました。それゆえアッラーの使徒 ﷺ は**王たちから始められた**のです。真理が下にまで届くよう、上の扉を開かれたのです。

この慈悲は、書簡が書かれた**方法**にも表れています。簡潔で明瞭、ビスミッラーで始まり、受け取る者の称号を尊び、安全を差し出しています。罵りもなく、戦いの脅しもありません。これこそ、人びとへの憐れみの心から生まれた宣教の模範です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「ムハンマド・ラスールッラー」の銀の指輪

書簡が送られる前に、人びとの慣習を理解する**英知**を示す小さな出来事が、アッラーの使徒 ﷺ にありました。使徒の召使いアナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は語ります：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 65 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ مُقَاتِلٍ أَبُو الْحَسَنِ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ، قَالَ أَخْبَرَنَا شُعْبَةُ، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، قَالَ كَتَبَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم كِتَابًا ـ أَوْ أَرَادَ أَنْ يَكْتُبَ ـ فَقِيلَ لَهُ إِنَّهُمْ لاَ يَقْرَءُونَ كِتَابًا إِلاَّ مَخْتُومًا. فَاتَّخَذَ خَاتَمًا مِنْ فِضَّةٍ نَقْشُهُ مُحَمَّدٌ رَسُولُ اللَّهِ. كَأَنِّي أَنْظُرُ إِلَى بَيَاضِهِ فِي يَدِهِ. فَقُلْتُ لِقَتَادَةَ مَنْ قَالَ نَقْشُهُ مُحَمَّدٌ رَسُولُ اللَّهِ قَالَ أَنَسٌ.

訳：

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は言った：**預言者 ﷺ は一通の書簡を書かれた ― あるいは書こうとされた ― ところ、「かれら（王たち）は印章の押された書簡でなければ読みません」と言われた。そこで使徒は銀で指輪を作られ、それには**「ムハンマド・ラスールッラー」**と刻まれていた。私には今も、使徒の手にあるその白さが見えるようである。**シュウバは言った：私はカターダに尋ねた。「その刻印が『ムハンマド・ラスールッラー』だと言ったのは誰か。」かれは答えた。「アナスです。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・ムカーティル ← アブドゥッラー・ブン・アル＝ムバーラク ← シュウバ ← カターダ ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』知識の書、ハディース第 65 番；第 2938 番、第 5872 番にも；『サヒーフ・ムスリム』第 2092 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:65

このハディースの教訓

当時の王たちは**印章のない書簡を読みませんでした**。印章のない書簡は正式なものではない、あるいは偽物かもしれないと見なされたからです。アッラーの使徒 ﷺ はその慣習を取るに足らないものとして退けず、書簡が受け取られ読まれるよう、**それに合わせられました**。シャリーアに反しない慣習は、宣教の益のために尊重することができるのです。

指輪の刻印にも深い意味があります：「**ムハンマド・ラスールッラー**」 — 王の称号でも部族の名でもなく、使徒が**アッラーの使徒**であるという告白です。押印された書簡はどれも、読まれる前にこのメッセージを運んでいました。差出人は服従を求める王ではなく、啓示を伝える使徒なのだと。

アナスは「**私には今も、使徒の手にあるその白さが見えるようである**」と言いました。忠実な召使いのこの思い出は、教友たちがアッラーの使徒 ﷺ の生活の細部まで見つめ、覚え、それを誠実に私たちへ伝えたことを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

三行の刻印

アナス رضى الله عنه は、自身がバハレーンへ遣わされたとき、指輪の**刻印の並び方**についても説明しています。それはカリフ・アブー・バクル رضى الله عنه の時代のことでした：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3106 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ الأَنْصَارِيُّ، قَالَ حَدَّثَنِي أَبِي، عَنْ ثُمَامَةَ، عَنْ أَنَسٍ، أَنَّ أَبَا بَكْرٍ ـ رضى الله عنه ـ لَمَّا اسْتُخْلِفَ بَعَثَهُ إِلَى الْبَحْرَيْنِ، وَكَتَبَ لَهُ هَذَا الْكِتَابَ وَخَتَمَهُ، وَكَانَ نَقْشُ الْخَاتَمِ ثَلاَثَةَ أَسْطُرٍ مُحَمَّدٌ سَطْرٌ، وَرَسُولُ سَطْرٌ، وَاللَّهِ سَطْرٌ.

訳：

アナス رضى الله عنه は伝えています。**アブー・バクル رضى الله عنه がカリフに任じられると、かれ（アナス）をバハレーンへ遣わし、この書面を書いて押印した。指輪の刻印は三行で、「ムハンマド」が一行、「ラスール（使徒）」が一行、「アッラー」が一行であった。**

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アブドゥッラー・アル＝アンサーリー ← その父アブドゥッラー・ブン・アル＝ムサンナー ← スマーマ・ブン・アブドゥッラー ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』五分の一の書、ハディース第 3106 番；第 5878 番にも。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3106

学者たちは、この三行は**下から上へ**読むものだと説明しています。最上段に「アッラー」、次に「ラスール」、そして「ムハンマド」 ― アッラーの御名を最も高い位置に置く礼儀としてです。イブン・ハジャルは『**ファトフ・アル＝バーリー**』でこの見解を挙げつつ、真正な伝承は三行であることだけを述べ、読む方向は定めていないと述べています。

同じ指輪は、アブー・バクル、次いでウマル、次いでウスマーン رضى الله عنه に用いられ、ウスマーンの時代に**アリースの井戸に落ちて**二度と見つかりませんでした（『サヒーフ・ブハーリー』5879）。教訓：アッラーの使徒 ﷺ の印章は、使徒の逝去後も、ザカートや統治についてのカリフたちの書簡の中で、その務め — **預かりものを届けること** — を果たし続けたのです。

すべての支配者への書簡

アッラーの使徒 ﷺ の書簡を受け取った王はどれほどいたのでしょうか。アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه は、使徒の呼びかけの**広がり**を示す全体像を伝えています：

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1774 番

حَدَّثَنِي يُوسُفُ بْنُ حَمَّادٍ الْمَعْنِيُّ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الأَعْلَى، عَنْ سَعِيدٍ، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ أَنَسٍ، أَنَّ نَبِيَّ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم كَتَبَ إِلَى كِسْرَى وَإِلَى قَيْصَرَ وَإِلَى النَّجَاشِيِّ وَإِلَى كُلِّ جَبَّارٍ يَدْعُوهُمْ إِلَى اللَّهِ تَعَالَى وَلَيْسَ بِالنَّجَاشِيِّ الَّذِي صَلَّى عَلَيْهِ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم.

訳：

アナス رضي الله عنه は伝えています。**アッラーの預言者 ﷺ は、キスラー、カイサル、ナジャーシー、そして権力を持つすべての支配者に書簡を書き、かれらをアッラーへと招かれた。 このナジャーシーは、預言者 ﷺ が葬儀の礼拝をささげたナジャーシーではない。**

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ユースフ・ブン・ハンマード・アル＝マアニー ← アブドゥル・アアラー ← サイード・ブン・アビー・アルーバ ← カターダ ← アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』ジハードと遠征の書、不信仰の王たちへの預言者 ﷺ の書簡の章、ハディース第 1774 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1774

このハディースの教訓

「**権力を持つすべての支配者に**」という言葉は、書簡が二、三通ではなく、ローマとペルシャという**世界の大国**、そしてアラビア半島周辺の小さな支配者たちにまで及んだことを示しています。招くには大きすぎる者も小さすぎる者もいなかったのです。

このハディースはまた、この書簡を受け取った**ナジャーシー**は、**そのナジャーシーではない**、すなわち預言者 ﷺ が葬儀の礼拝をささげたナジャーシーではないと述べています。この大切な点は「もう一人のナジャーシー」の項で取り上げます。

教訓：宣教は**すべての人間の権利**です。権力ある者も招かれるべきであり、弱い者も訪ねられるべきです。アッラーの使徒 ﷺ は真理を受けるにふさわしい者を選り分けず、すべての人に伝えられました。導きはアッラーの御手にあります。

読み書きのできない預言者が王たちに書き送る

アッラーの使徒 ﷺ は読み書きをされませんでした。アッラーは仰せられます：「**あなたはこれ（クルアーン）以前に、どんな啓典も読まなかったし、またあなたの右手でそれを書きもしなかった**」『イブン・カスィール注釈』29:48。

しかし、宮殿に書記や哲学者を抱える皇帝たちに公式の書簡を送ったのは、この**読み書きのできない（ウンミー）**預言者だったのです。使徒が書簡の内容を**口述され**、書くことに長けた教友たちがそれを書き留めました。スィーラ書は、使徒の書記としてザイド・ブン・サービト、アリー・ブン・アビー・ターリブ、ムアーウィヤ・ブン・アビー・スフヤーン رضي الله عنه らを挙げています。

この「読み書きのできない預言者」という特徴そのものが、以前の啓典に記された徴の一つです：「**かれらは、自分たちの手元にある律法と福音の中に（その名と特徴が）記されている、読み書きのできない預言者である使徒に従う者たちである**」『イブン・カスィール注釈』7:157。

それゆえ、以前の啓典を知っていたヘラクレイオスは、アブー・スフヤーンをあれほど注意深く問いただしたのです。かれは、すでに知っていた**徴を探していた**のです。書簡は単なる紙ではなく、真理を見分けることのできる者に届いた**証拠**でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：18 / 83

六人の使者、六つの方向

書簡を運んだのは誰だったのでしょうか。スィーラ書は、注意深く選ばれた使者たちの名を挙げています — それぞれが向かう国にふさわしい人物でした。**弁の立つ**者、その国で**商売をした経験のある**者、そして傲慢な王に立ち向かう**勇気のある**者もいました。

使者たちと王たちの応じ方

使者	受取人	応じ方
ディフヤ・アル＝カルビー	ローマ皇帝ヘラクレイオス	敬意を示す；信仰せず
アブドゥッラー・ブン・フザーファ	ペルシャのキスラー	書簡を引き裂く
アムル・ブン・ウマイヤ・アッ＝ダムリー	アビシニアのナジャーシー	信仰（アスハマ）
ハーティブ・ブン・アビー・バルタア	エジプトのアル＝ムカウキス	敬意を示す；贈り物を送る
シュジャーウ・ブン・ワフブ	アル＝ハーリス・アル＝ガッサーニー	拒んで脅す
サリート・ブン・アムル	ヤマーマのハウザ	権力の分け前を求める
アル＝アラーウ・アル＝ハドラミー	バハレーンのアル＝ムンズィル・ブン・サーワー	信仰
アムル・ブン・アル＝アース	オマーンのジャイファルとアブド	信仰

使者の名と応じ方はスィーラ書（イブン・サアド、イブン・ヒシャーム、『ザード・アル＝マアード』）による。キスラーとカイサルへの書簡は『サヒーフ・ブハーリー』7と4424にもある。

図 2：使者、書簡の受取人、そしてかれらの応じ方（スィーラ書による）。

スィーラの注：使者たち — アッラーの使徒 ﷺ

イブン・サアドとイブン・ヒシャームは次のように挙げています：ヘラクレイオスへは**ディフヤ・アル＝カルビー**、キスラーへは**アブドゥッラー・ブン・フザーファ・アッ＝サフミー**、ナジャーシーへは**アムル・ブン・ウマイヤ・アッ＝ダムリー**、アル＝ムカウキスへは**ハーティブ・ブン・アビー・バルタア**、アル＝ハーリス・アル＝ガッサーニーへは**シュジャーウ・ブン・ワフブ・アル＝アサディー**、そしてヤマーマのハウザ・ブン・アリーへは**サリート・ブン・アムル・アル＝アーミリー**。

二人の名は真正なハディースで確かめられます。**ディフヤ**はボスラの長官に書簡を届け、それがヘラクレイオスに渡されました（ブハーリー 7）。**アブドゥッラー・ブン・フザーファ**はキスラーに書簡を届けました（ブハーリー 4424）。その他の名は、よく知られた**スィーラ書の情報**です。

参照：

イブン・サアド『大伝記集』；イブン・ヒシャーム『預言者伝』；イブン・アル＝カイイム『来世への糧（ザード・アル＝マアード）』。

書簡はどこへ向かったのか

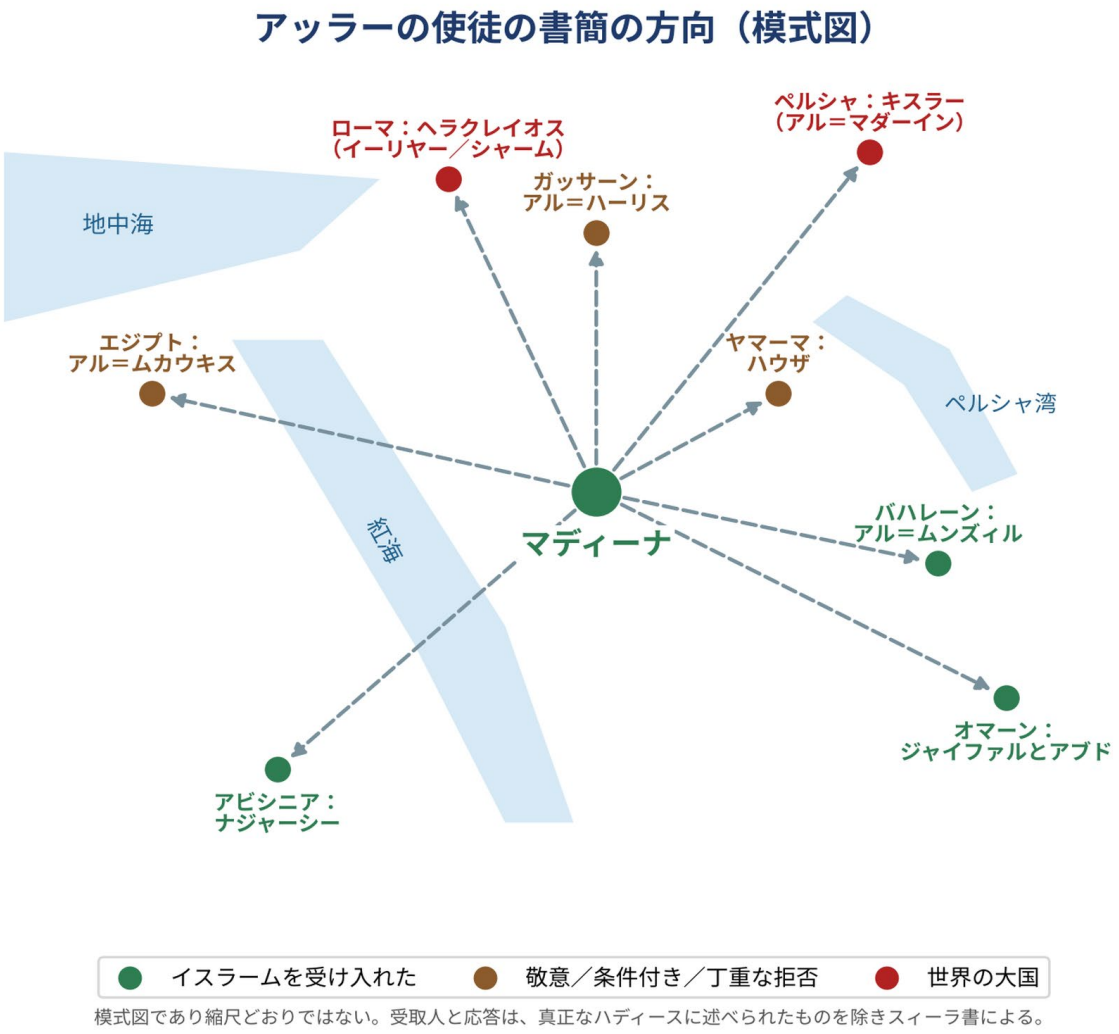


図 3：マディーナからのアッラーの使徒 ﷺ の書簡の方向（模式図）。

書簡はマディーナから、**北**（ローマとガッサーン）、**北東**（ペルシャ）、**西**（エジプト）、紅海を越えて**南**（アビシニア）、そして**東**（ヤマーマ、バハレーン、オマーン）へと向かいました。教訓：アッラーの使徒 ﷺ は、招く相手の言葉と文化を理解する**ふさわしい伝え手を選ばれた**のです。

ヘラクレイオスとローマの勝利

アッラーの使徒 ﷺ の書簡が届いたとき、ヘラクレイオスがどこにいたのかを理解するには、ある**クルアーンの予言**に戻る必要があります。ヒジュラの数年前、ペルシャはローマを打ち破り、シャーム、エルサレム、エジプトを奪いました。マッカの多神教徒たちは喜びました。火を拝むペルシャのほうが自分たちに近かったからです。そこでアッラーは下されました：

「**ビザンチンの民は打ち負かされた。**」『イブン・カスィール注釈』30:2。

「**だがかれらは、（この）敗北の後直ぐに勝つであろう**」『イブン・カスィール注釈』30:3。

「**数年の中に（勝利を得よう）**」『イブン・カスィール注釈』30:4。

その予言は現実となりました。ヘラクレイオスは反撃に出て、フダイビーヤの時期と重なる西暦 627〜628 年ごろに**ペルシャを打ち破りました。**イマーム・ブハーリーは、アッラーがペルシャ軍をかれから退けられたとき、**ヘラクレイオスは感謝のしるしとしてヒムスからイーリヤー（エルサレム）まで歩いた**と伝えています（『サヒーフ・ブハーリー』2941）。アッラーの使徒 ﷺ の書簡がかれのもとに届いたのは、そのイーリヤーにおいてでした。

歴史の注：ローマ・ペルシャ戦争

西暦 602〜628 年の東ローマ（ビザンツ）帝国とサーサーン朝ペルシャの戦争は、両帝国の歴史の中でも最も長い戦争の一つでした。それはヘラクレイオスの勝利と西暦 628 年の和平で終わりました（Wikipedia「Byzantine–Sasanian War of 602–628」）。この戦争は二つの大国を疲れさせ — それから十年も経たないうちに、両国はイスラームの軍と向き合うことになったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヘラクレイオスの宮廷のアブー・スフヤーン

アッラーの使徒 ﷺ の書簡がイーリヤーに届くと、ヘラクレイオスは差出人が誰なのかを知ろうとしました。ちょうどそのとき — アッラーの定めにより — **アブー・スフヤーン・ブン・ハルブ**が率いるクライシュの隊商がシャームにいました。かれは当時、アッラーの使徒 ﷺ の最大の敵でした。この話は、アブー・スフヤーン自身が、イスラームに入った何年も後に、イブン・アッバース رضي الله عنهما に語ったものです：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 7 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْيَمَانِ الْحَكَمُ بْنُ نَافِعٍ، قَالَ أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ أَخْبَرَنِي عُبَيْدُ اللَّهِ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُتْبَةَ بْنِ مَسْعُودٍ، أَنَّ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ عَبَّاسٍ، أَخْبَرَهُ أَنَّ أَبَا سُفْيَانَ بْنَ حَرْبٍ أَخْبَرَهُ أَنَّ هِرَقْلَ أَرْسَلَ إِلَيْهِ فِي رَكْبٍ مِنْ قُرَيْشٍ ـ وَكَانُوا تُجَّارًا بِالشَّأْمِ ـ فِي الْمُدَّةِ الَّتِي كَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مَادَّ فِيهَا أَبَا سُفْيَانَ وَكُفَّارَ قُرَيْشٍ، فَأَتَوْهُ وَهُمْ بِإِيلِيَاءَ فَدَعَاهُمْ فِي مَجْلِسِهِ، وَحَوْلَهُ عُظَمَاءُ الرُّومِ ثُمَّ دَعَاهُمْ وَدَعَا بِتَرْجُمَانِهِ فَقَالَ أَيُّكُمْ أَقْرَبُ نَسَبًا بِهَذَا الرَّجُلِ الَّذِي يَزْعُمُ أَنَّهُ نَبِيٌّ فَقَالَ أَبُو سُفْيَانَ فَقُلْتُ أَنَا أَقْرَبُهُمْ نَسَبًا. فَقَالَ أَدْنُوهُ مِنِّي، وَقَرِّبُوا أَصْحَابَهُ، فَاجْعَلُوهُمْ عِنْدَ ظَهْرِهِ. ثُمَّ قَالَ لِتَرْجُمَانِهِ قُلْ لَهُمْ إِنِّي سَائِلٌ هَذَا عَنْ هَذَا الرَّجُلِ، فَإِنْ كَذَبَنِي فَكَذِّبُوهُ. فَوَاللَّهِ لَوْلاَ الْحَيَاءُ مِنْ أَنْ يَأْثُرُوا عَلَىَّ كَذِبًا لَكَذَبْتُ عَنْهُ، ثُمَّ كَانَ أَوَّلَ مَا سَأَلَنِي عَنْهُ أَنْ قَالَ كَيْفَ نَسَبُهُ فِيكُمْ قُلْتُ هُوَ فِينَا ذُو نَسَبٍ. قَالَ فَهَلْ قَالَ هَذَا الْقَوْلَ مِنْكُمْ أَحَدٌ قَطُّ قَبْلَهُ قُلْتُ لاَ. قَالَ فَهَلْ كَانَ مِنْ آبَائِهِ مِنْ مَلِكٍ قُلْتُ لاَ. قَالَ فَأَشْرَافُ النَّاسِ يَتَّبِعُونَهُ أَمْ ضُعَفَاؤُهُمْ فَقُلْتُ بَلْ ضُعَفَاؤُهُمْ. قَالَ أَيَزِيدُونَ أَمْ يَنْقُصُونَ قُلْتُ بَلْ يَزِيدُونَ. قَالَ فَهَلْ يَرْتَدُّ أَحَدٌ مِنْهُمْ سَخْطَةً لِدِينِهِ بَعْدَ أَنْ يَدْخُلَ فِيهِ قُلْتُ لاَ. قَالَ فَهَلْ كُنْتُمْ تَتَّهِمُونَهُ بِالْكَذِبِ قَبْلَ أَنْ يَقُولَ مَا قَالَ قُلْتُ لاَ. قَالَ فَهَلْ يَغْدِرُ قُلْتُ لاَ، وَنَحْنُ مِنْهُ فِي مُدَّةٍ لاَ نَدْرِي مَا هُوَ فَاعِلٌ فِيهَا. قَالَ وَلَمْ تُمْكِنِّي كَلِمَةٌ أُدْخِلُ فِيهَا شَيْئًا غَيْرُ هَذِهِ الْكَلِمَةِ. قَالَ فَهَلْ قَاتَلْتُمُوهُ قُلْتُ نَعَمْ. قَالَ فَكَيْفَ كَانَ قِتَالُكُمْ إِيَّاهُ قُلْتُ

الْحَرْبُ بَيْنَنَا وَبَيْنَهُ سِجَالٌ، يَنَالُ مِنَّا وَنَنَالُ مِنْهُ. قَالَ مَاذَا يَأْمُرُكُمْ قُلْتُ يَقُولُ اعْبُدُوا اللَّهَ وَحْدَهُ، وَلاَ تُشْرِكُوا بِهِ شَيْئًا، وَاتْرُكُوا مَا يَقُولُ آبَاؤُكُمْ، وَيَأْمُرُنَا بِالصَّلاَةِ وَالصِّدْقِ وَالْعَفَافِ وَالصِّلَةِ. فَقَالَ لِلتَّرْجُمَانِ قُلْ لَهُ سَأَلْتُكَ عَنْ نَسَبِهِ، فَذَكَرْتَ أَنَّهُ فِيكُمْ ذُو نَسَبٍ، فَكَذَلِكَ الرُّسُلُ تُبْعَثُ فِي نَسَبِ قَوْمِهَا، وَسَأَلْتُكَ هَلْ قَالَ أَحَدٌ مِنْكُمْ هَذَا الْقَوْلَ فَذَكَرْتَ أَنْ لاَ، فَقُلْتُ لَوْ كَانَ أَحَدٌ قَالَ هَذَا الْقَوْلَ قَبْلَهُ لَقُلْتُ رَجُلٌ يَأْتَسِي بِقَوْلٍ قِيلَ قَبْلَهُ، وَسَأَلْتُكَ هَلْ كَانَ مِنْ آبَائِهِ مِنْ مَلِكٍ فَذَكَرْتَ أَنْ لاَ، قُلْتُ فَلَوْ كَانَ مِنْ آبَائِهِ مِنْ مَلِكٍ قُلْتُ رَجُلٌ يَطْلُبُ مُلْكَ أَبِيهِ، وَسَأَلْتُكَ هَلْ كُنْتُمْ تَتَّهِمُونَهُ بِالْكَذِبِ قَبْلَ أَنْ يَقُولَ مَا قَالَ فَذَكَرْتَ أَنْ لاَ، فَقَدْ أَعْرِفُ أَنَّهُ لَمْ يَكُنْ لِيَذَرَ الْكَذِبَ عَلَى النَّاسِ وَيَكْذِبَ عَلَى اللَّهِ، وَسَأَلْتُكَ أَشْرَافُ النَّاسِ اتَّبَعُوهُ أَمْ ضُعَفَاؤُهُمْ فَذَكَرْتَ أَنَّ ضُعَفَاءَهُمُ اتَّبَعُوهُ، وَهُمْ أَتْبَاعُ الرُّسُلِ، وَسَأَلْتُكَ أَيَزِيدُونَ أَمْ يَنْقُصُونَ فَذَكَرْتَ أَنَّهُمْ يَزِيدُونَ، وَكَذَلِكَ أَمْرُ الإِيمَانِ حَتَّى يَتِمَّ، وَسَأَلْتُكَ أَيَرْتَدُّ أَحَدٌ سَخْطَةً لِدِينِهِ بَعْدَ أَنْ يَدْخُلَ فِيهِ فَذَكَرْتَ أَنْ لاَ، وَكَذَلِكَ الإِيمَانُ حِينَ تُخَالِطُ بَشَاشَتُهُ الْقُلُوبَ، وَسَأَلْتُكَ هَلْ يَغْدِرُ فَذَكَرْتَ أَنْ لاَ، وَكَذَلِكَ الرُّسُلُ لاَ تَغْدِرُ، وَسَأَلْتُكَ بِمَا يَأْمُرُكُمْ، فَذَكَرْتَ أَنَّهُ يَأْمُرُكُمْ أَنْ تَعْبُدُوا اللَّهَ، وَلاَ تُشْرِكُوا بِهِ شَيْئًا، وَيَنْهَاكُمْ عَنْ عِبَادَةِ الأَوْثَانِ، وَيَأْمُرُكُمْ بِالصَّلاَةِ وَالصِّدْقِ وَالْعَفَافِ. فَإِنْ كَانَ مَا تَقُولُ حَقًّا فَسَيَمْلِكُ مَوْضِعَ قَدَمَيَّ هَاتَيْنِ، وَقَدْ كُنْتُ أَعْلَمُ أَنَّهُ خَارِجٌ، لَمْ أَكُنْ أَظُنُّ أَنَّهُ مِنْكُمْ، فَلَوْ أَنِّي أَعْلَمُ أَنِّي أَخْلُصُ إِلَيْهِ لَتَجَشَّمْتُ لِقَاءَهُ، وَلَوْ كُنْتُ عِنْدَهُ لَغَسَلْتُ عَنْ قَدَمِهِ. ثُمَّ دَعَا بِكِتَابِ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم الَّذِي بَعَثَ بِهِ دِحْيَةُ إِلَى عَظِيمِ بُصْرَى، فَدَفَعَهُ إِلَى هِرَقْلَ فَقَرَأَهُ فَإِذَا فِيهِ بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ. مِنْ مُحَمَّدٍ عَبْدِ اللَّهِ وَرَسُولِهِ إِلَى هِرَقْلَ عَظِيمِ الرُّومِ. سَلاَمٌ عَلَى مَنِ اتَّبَعَ الْهُدَى، أَمَّا بَعْدُ فَإِنِّي أَدْعُوكَ بِدِعَايَةِ الإِسْلاَمِ، أَسْلِمْ تَسْلَمْ، يُؤْتِكَ اللَّهُ أَجْرَكَ مَرَّتَيْنِ، فَإِنْ تَوَلَّيْتَ فَإِنَّ عَلَيْكَ إِثْمَ الأَرِيسِيِّينَ وَ{يَا أَهْلَ الْكِتَابِ تَعَالَوْا إِلَى كَلِمَةٍ سَوَاءٍ بَيْنَنَا وَبَيْنَكُمْ أَنْ لاَ نَعْبُدَ إِلاَّ اللَّهَ وَلاَ نُشْرِكَ بِهِ شَيْئًا وَلاَ يَتَّخِذَ بَعْضُنَا بَعْضًا أَرْبَابًا مِنْ دُونِ اللَّهِ فَإِنْ تَوَلَّوْا فَقُولُوا اشْهَدُوا بِأَنَّا مُسْلِمُونَ} قَالَ أَبُو سُفْيَانَ فَلَمَّا قَالَ مَا قَالَ، وَفَرَغَ مِنْ قِرَاءَةِ الْكِتَابِ كَثُرَ عِنْدَهُ الصَّخَبُ، وَارْتَفَعَتِ الأَصْوَاتُ وَأُخْرِجْنَا، فَقُلْتُ

لأَصْحَابِي حِينَ أَخْرَجْنَا لَقَدْ أَمِرَ أَمْرُ ابْنِ أَبِي كَبْشَةَ، إِنَّهُ يَخَافُهُ مَلِكُ بَنِي الأَصْفَرِ. فَمَا زِلْتُ مُوقِنًا أَنَّهُ سَيَظْهَرُ حَتَّى أَدْخَلَ اللَّهُ عَلَيَّ الإِسْلاَمَ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・アッバース رضى الله عنهما は、アブー・スフヤーン・ブン・ハルブがかれに語ったことを伝えています：**ヘラクレイオスは、アッラーの使徒 ﷺ とアブー・スフヤーンおよびクライシュの不信仰者たちとの休戦期間中に、シャームで商いをしていたクライシュの一行と共にかれを呼び寄せた。**ヘラクレイオスはローマの高官たちに囲まれた宮廷にかれらを呼び、尋ねた。「預言者だと名乗っているこの男に、血筋が最も近いのは誰か。」アブー・スフヤーンは「私です」と答えた。ヘラクレイオスは、かれが嘘をついたら否定させるために、仲間たちをかれの背後に立たせた。アブー・スフヤーンは言った：**「アッラーにかけて、嘘つきと言われる恥がなければ、私はかれについて嘘をついただろう。」**ヘラクレイオスは、その血筋（高貴である）、以前に同じことを唱えた者がいたか（いない）、先祖に王がいたか（いない）、その従う者は誰か（弱い人々）、増えているか（増えている）、嫌になって離れた者がいるか（いない）、以前に嘘をついたことがあるか（ない）、約束を破るか（破らない）、かれと戦ったか（はい、勝ったり負けたりした）、そしてかれが何を命じているかを尋ねた：**「アッラーだけを崇め、何ものもかれに並べず、あなたがたの父祖たちの言うことを捨てよ。そして私たちに礼拝し、真実を語り、慎み深くし、親族の絆を保つよう命じています。」**ヘラクレイオスはそれぞれの答えを説明し、言った：**「あなたの言うことが本当なら、かれは私のこの両足が立つ所を支配するであろう……もし私がかれのもとにいたなら、かれの足を洗うであろう。」**それからかれはアッラーの使徒 ﷺ の書簡を読んだ：**「慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。アッラーのしもべであり使徒であるムハンマドから、ローマの長ヘラクレイオスへ。導きに従う者に平安あれ。さて、私はあなたをイスラームの呼びかけへと招く。**イスラームに入りなさい、そうすればあなたは安全である。**アッラーはあなたに二倍の報奨を与えられるであろう。もし背くなら、あなたは民（アリースィーユーン）の罪を負う。『啓典の民よ、わたしたちとあなたがたとの間の共通のことばに来なさい……』（イムラーン家章 3:64）。」**アブー・スフヤーンは言った：かれが読み終えると、声が騒がしくなり、私たちは外に出された。

私は仲間たちに言った。「アブー・カブシャの子（ムハンマド）の事は大きくなった。バヌー・アル＝アスファル（ローマ）の王までもがかれを恐れている。」**私はかれが勝つと確信し続けた。ついにアッラーが私の心にイスラームを入れてくださるまで。**

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ヤマーン・アル＝ハカム・ブン・ナーフィウ ← シュアイブ・ブン・アビー・ハムザ ← アッ＝ズフリー ← ウバイドゥッラー・ブン・アブドゥッラー・ブン・ウトバ ← アブドゥッラー・ブン・アッバース ← アブー・スフヤーン・ブン・ハルブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』啓示の始まりの書、ハディース第 7 番（アブー・スフヤーンの言葉まで引用）；第 2941 番、第 4553 番にも；『サヒーフ・ムスリム』第 1773 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:7

このハディースの教訓

このハディースは『サヒーフ・ブハーリー』の**第 7 番のハディース**で、イマーム・ブハーリーはこれを「啓示の始まりの書」に置きました。それは驚くべき証言です。**敵の証言** — 皇帝の前で、まだ信仰しておらず使徒を悪く言いたくてたまらなかった敵自身による、アッラーの使徒 ﷺ の真実についての証言なのです。

アブー・スフヤーンは、**嘘つきと言われる恥**が嘘をつくことを妨げたと認めています。アラブにとって嘘は大きな恥でした。そのため、かれの答えは敵の口から出たものであっても、**正直な証拠**となったのです — アッラーの使徒 ﷺ の人柄についての証拠に。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・スフヤーン：敵から教友へ

このハディースのアブー・スフヤーンの最後の言葉は、深く心を打ちます：「**私はかれが勝つと確信し続けた。ついにアッラーが私の心にイスラームを入れてくださるまで。**」その確信はヘラクレイオスの宮廷で始まりましたが、イスラームがかれの心に入ったのは、およそ**二年後**、ヒジュラ8年のマッカ征服のときでした（『サヒーフ・ブハーリー』4280）。

マッカ征服の日、アッラーの使徒 ﷺ はかれを尊んで言われました：「**アブー・スフヤーンの家に入る者は安全である**」（『サヒーフ・ムスリム』1780）。ウフドとアフザーブでクライシュを率いて使徒と戦った男は、ついに教友となり、その息子ヤズィードとムアーウィヤはシャーム — ヘラクレイオス自身の土地 — の解放のために戦ったのです。

教訓：誰の導きについても**あきらめてはなりません**。今日の敵は明日の友かもしれず、今日の正直な証言は、後に芽生える信仰の種となるかもしれません。

ヘラクレイオスの十の問い

ヘラクレイオスは単なる皇帝ではなく、**以前の啓典を知る者**でもありました。かれの問いは、自分が知っていた預言者の徴を確かめるために、注意深く組み立てられていました。アブー・スフヤーンの答えを聞いた後、ヘラクレイオス自身がそれぞれの問いの意味を説明しました：

問いとアブー・スフヤーンの答え	ヘラクレイオスの説明
血筋は？ — 高貴	使徒たちはその民の高貴な血筋から遣わされる
以前に同じことを唱えた者は？ — いない	いたなら、前の者をまねているのかもしれない
先祖に王は？ — いない	いたなら、父祖の王国を求めているのかもしれない
嘘をついたことは？ — ない	人に嘘をつかない者が、アッラーについて嘘をつくことはない
従う者は？ — 弱い人々	弱い人々こそ使徒たちに従う者である
増えているか、減っているか？ — 増えている	信仰とは、完成するまでそういうものである
嫌になって離れた者は？ — いない	信仰とは、その甘美さが心にしみ込むとそういうものである
約束を破るか？ — 破らない	使徒たちとはそういうもので、裏切らない
かれと戦ったか？ — はい、勝ったり負けたり	使徒たちはそのように試され、最後の結末はかれらのものとなる
何を命じているか？ — 唯一神信仰、礼拝、誠実、慎み、親族の絆	本当なら、かれは私の足が立つ所を支配するであろう

ヘラクレイオスのこの説明は、同じハディースの完全な文に伝えられています（『サヒーフ・ブハーリー』7）。その試験がいかに**理にかなっていた**かを見てください。権力を求める嘘つきなら、王家の出であり、嘘をつき、裏切り、その従う者

はかれの正体を知れば去っていくでしょう。そのどれも**起こらなかった**のです、アッラーの使徒 ﷺ には。

信仰の甘美さ

ヘラクレイオスの言葉の中で最も美しいものの一つは、「**信仰とは、その甘美さが心と混じり合うとそういうものである**」という言葉です。信仰の甘美さを味わった者は、たとえ拷問されても、嫌になってそれを捨てることはありません。それは、マッカのビラール、ヤースィルの家族、そして弱い教友たちに見られたことでした。

アッラーの使徒 ﷺ ご自身が、**信仰の甘美さ**をもたらす三つのことを説明されました。アッラーとその使徒が他の何よりも愛しいこと、ある人をアッラーのために愛すること、そして火に投げ込まれるのを嫌うように不信仰に戻ることを嫌うことです（『サヒーフ・ブハーリー』16）。

「イスラームに入りなさい、そうすれば安全です」

アッラーの使徒 ﷺ のヘラクレイオスへの書簡は、完璧な**宣教の書簡**の模範です。簡潔ですが、その一語一語に目的があります。その構成を見てみましょう：

書簡の部分	その意味
ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム	アッラーの御名で始める
アッラーのしもべであり使徒であるムハンマドから	「しもべ」が先：謙虚さと唯一神信仰
ローマの長ヘラクレイオスへ	受け取る者の地位を尊ぶ
導きに従う者に平安あれ	非ムスリムにふさわしい挨拶
イスラームに入りなさい、そうすれば安全である	明確な呼びかけと安全の約束
アッラーは二倍の報奨を与えられる	イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ とムハンマド ﷺ
民（アリースィーユーン）の罪	民に対する指導者の責任
イムラーン家章 3:64	啓典の民との共通点

書簡は、啓典の民を共通点へと招く節で結ばれています：「**啓典の民よ、わたしたちとあなたがたとの間の共通のことば（の下）に来なさい。わたしたちはアッラーにだけ仕え（る）**」『イブン・カスィール注釈』3:64。

アッラーの使徒 ﷺ は違いから始めず、**共通点**から始められました。ヘラクレイオスはアッラーと預言者たちを信じるキリスト教徒でした。賢明な宣教は**合意できる土台の上に築き**、その後で意見の分かれる点を説明するのです。

二倍の報奨

「**二倍の報奨**」の約束は、別のハディースで説明されています。二つの報奨を受ける三種類の人の一人は、**自分の預言者を信じ、その後ムハンマド** ﷺ を信じた啓典の

民の人です（『サヒーフ・ブハーリー』97）。イスラームは、啓典の民の自分たちの預言者への信仰を無効にするのではなく、それを完成させるのです。

ヘラクレイオスとその王座

ヘラクレイオスはどう決断したのでしょうか。『サヒーフ・ブハーリー』7 の完全な文は、イマーム・アッ＝ズフリーが伝える、イーリヤーの総督**イブン・アン＝ナートゥール**の伝承によってこの話を続けています。ヘラクレイオスは**ヒムス**へ行き、ローマの高官たちを自分の宮殿の一つに招きました。かれは扉をすべて閉めるよう命じ、それから言いました：「**ローマの人々よ、あなたがたは成功と導きを望み、あなたがたの王国が続くことを望むか。それならこの預言者に忠誠を誓いなさい。**」

高官たちは野生のロバのように扉へ向かって**逃げ出しました**が、扉はすべて閉ざされていました。ヘラクレイオスはかれらの拒絶を見て、その信仰をあきらめると言いました：「**かれらを私のもとへ連れ戻せ。**」そして言いました：「**さきほどの私の言葉は、あなたがたの宗教への堅さを試すために言ったのであり、私はそれを見た。**」かれらはかれにひれ伏し、かれに満足しました（『サヒーフ・ブハーリー』7）。

スィーラの注：イブン・アン＝ナートゥールの伝承の位置づけ

このハディースの最後の部分は預言者 ﷺ の言葉ではなく、アッ＝ズフリーがシャームのキリスト教徒の高官イブン・アン＝ナートゥールから伝えた**歴史の伝え**です。イマーム・ブハーリーはそれを話の続きとして収めました。イブン・ハジャルは『**ファトフ・アル＝バーリー**』で、アッ＝ズフリーはイブン・アン＝ナートゥールがイスラームに入った後にそれを聞いたか、あるいは信頼できる仲介者を通して聞いたと説明しています。

ヘラクレイオスがひそかに信仰したかどうかについて、学者たちの**意見は分かれています**。この伝承から明らかなのは、かれが**自分の王座を優先した**ということで、ハディースは「これがヘラクレイオスの事の結末であった」という言葉で結ばれています。かれの心の事はアッラーに委ねられます。

参照：

『サヒーフ・ブハーリー』7；イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』啓示の始まりの書。https://sunnah.com/bukhari:7

この教訓は非常に深いものです：**真理を知ることは、それを受け入れることと同じではありません。**ヘラクレイオスは預言者の徴を見分け、アッラーの使徒 ﷺ の足を洗うとまで言いましたが、**権力への愛**がかれを妨げました。反対に、当時敵であったアブー・スフヤーンは、ついにこう言いました：「**アッラーが私の心にイスラームを入れてくださった。**」導きは、アッラーがお望みの者に与えられる賜物なのです。

書簡を引き裂いたキスラー

ヘラクレイオスが敬意をもって書簡を迎えたのに対し、ペルシャ皇帝**キスラー**は正反対の応じ方をしました。当時のキスラーは**ホスロー2 世（パルヴィーズ）**で、何世紀も続いた帝国の支配者であり、自らを神に等しい者と見なしていました。イブン・アッバース رضي الله عنهما は語ります：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4424 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ، حَدَّثَنَا يَعْقُوبُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، حَدَّثَنَا أَبِي، عَنْ صَالِحٍ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، قَالَ أَخْبَرَنِي عُبَيْدُ اللَّهِ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، أَنَّ ابْنَ عَبَّاسٍ، أَخْبَرَهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بَعَثَ بِكِتَابِهِ إِلَى كِسْرَى مَعَ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ حُذَافَةَ السَّهْمِيِّ، فَأَمَرَهُ أَنْ يَدْفَعَهُ إِلَى عَظِيمِ الْبَحْرَيْنِ، فَدَفَعَهُ عَظِيمُ الْبَحْرَيْنِ إِلَى كِسْرَى، فَلَمَّا قَرَأَهُ مَزَّقَهُ ـ فَحَسِبْتُ أَنَّ ابْنَ الْمُسَيَّبِ قَالَ ـ فَدَعَا عَلَيْهِمْ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم أَنْ يُمَزَّقُوا كُلَّ مُمَزَّقٍ.

訳：

イブン・アッバース رضي الله عنهما は伝えています。**アッラーの使徒 ﷺ は、アブドゥッラー・ブン・フザーファ・アッ＝サフミーに書簡を持たせてキスラーのもとへ遣わし、それをバハレーンの長官に渡すよう命じられた。バハレーンの長官はそれをキスラーに渡した。キスラーはそれを読むと、引き裂いた。**（イブン・シハーブは言った：イブン・アル＝ムサイイブがこう言ったと思う：）**そこでアッラーの使徒 ﷺ は、かれらがずたずたに引き裂かれるよう祈られた。**

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム ← ヤアクーブ・ブン・イブラーヒーム ← その父イブラーヒーム・ブン・サアド ← サーリフ・ブン・カイサーン ← イブン・シハーブ・アッ＝ズフリー ← ウバイドゥッラー・ブン・アブドゥッラー ← イブン・アッバース رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、キスラーとカイサルへの預言者 ﷺ の書簡の章、ハディース第 4424 番；第 64 番、第 2939 番、第 7264 番にも。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4424

このハディースの教訓

キスラーは怒って**書簡を引き裂きました**— アッラーの使徒 ﷺ の書簡を。スィーラ書によれば、アッラーの使徒 ﷺ の名がかれの名より先に書かれていたことに激怒したといいます。傲慢な皇帝にとって、アラビアの砂漠の一人の男からの書簡は侮辱だったのです。

アッラーの使徒 ﷺ は軍を送って報復されませんでした。使徒は、書簡が引き裂かれたように、かれらの王国が引き裂かれるよう**アッラーに祈られた**のです。その祈りは、続く章で見るように、驚くべき形でかなえられました。

教訓：**真理を拒む傲慢さ**は滅びをもたらします。アッラーは高慢な者たちについて仰せられます：「われは地上で不当に高慢な者たちを、わが印から背かせるであろう」（高壁章 7:146）。ヘラクレイオスは少なくとも耳を傾けましたが、キスラーはまったく聞こうとしなかったのです。

イエメンのバーザーンとキスラーの死

書簡が引き裂かれた後の話は、私たちが引用した真正なハディースには見られませんが、スィーラ書や歴史書でよく知られて伝えられています。その位置づけを明らかにしたうえで述べます：

スィーラの注：イエメン総督バーザーン

イブン・サアドとアッ＝タバリーは、キスラーがイエメンの総督**バーザーン**に、アッラーの使徒 ﷺ を自分のもとへ連れて来るため二人の男を送るよう命じたと伝えています。かれらがマディーナに着くと、アッラーの使徒 ﷺ はかれらに待つよう求め、それから告げられました：「**わが主は今夜、あなたがたの主人を殺された。その息子シールーヤがかれを殺したのだ。**」

二人の使者は戻ってその知らせをバーザーンに伝えました。間もなく、父の死を確かめるシールーヤからの書簡が届きました。そこで**バーザーンとイエメンのペルシャ人たちはイスラームに入りました。**この伝承はスィーラ書でよく知られていますが、その一部の伝承経路はムルサル（途中の伝承者が欠けている）です。

参照：

イブン・サアド『大伝記集』；アッ＝タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

歴史の注：ホスロー2 世の失墜

イスラーム以外の歴史資料も、**ホスロー2 世がその息子カワード 2 世（シールーヤ）によって廃位され**、西暦 628 年 2 月に、その数日後に殺されたことを記録しています（Wikipedia「Khosrow II」）。その後四年の間に、ペルシャは**十人以上の王と女王**によって次々と治められました ― その王国はまさに「引き裂かれた」のです。

アッラーの使徒 ﷺ は、ペルシャがキスラーの娘を支配者に立てたと聞いたとき、こう言われました：「**自分たちの事を女性に委ねる民は成功しない**」（『サヒーフ・ブハーリー』4425） ― 使徒がペルシャの動きを注意深く見ておられたことを示すハ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 | ページ：37 / 83

ディースです。学者たちは、このハディースの意味を国家の最高指導者という文脈で論じています。

「かれの後にキスラーはいない」

アッラーの使徒 ﷺ は祈られただけではありません。二つの大帝国の**未来を告げられ**、しかも驚くべき確かさをもってそうされたのです：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3121 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ، سَمِعَ جَرِيرًا، عَنْ عَبْدِ الْمَلِكِ، عَنْ جَابِرِ بْنِ سَمُرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم إِذَا هَلَكَ كِسْرَى فَلاَ كِسْرَى بَعْدَهُ، وَإِذَا هَلَكَ قَيْصَرُ فَلاَ قَيْصَرَ بَعْدَهُ، وَالَّذِي نَفْسِي بِيَدِهِ، لَتُنْفَقَنَّ كُنُوزُهُمَا فِي سَبِيلِ اللَّهِ.

訳：

ジャービル・ブン・サムラ رضى الله عنه は言った：アッラーの使徒 ﷺ は言われた：「**キスラーが滅びれば、その後にキスラーはいない。カイサルが滅びれば、その後にカイサルはいない。**わが魂をその御手に握る御方にかけて、二人の宝はきっとアッラーの道のために費やされるであろう。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム ← ジャリール・ブン・アブドゥル・ハミード ← アブドゥル・マリク・ブン・ウマイル ← ジャービル・ブン・サムラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』五分の一の書、ハディース第 3121 番；第 3618〜3619 番にも；『サヒーフ・ムスリム』第 2919 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3121

このハディースの教訓

この言葉が語られたとき、ローマとペルシャは**世界の二大強国**であり、ムスリムはマディーナの小さな共同体にすぎませんでした。しかし二十年も経たないうちに、この予言は現実となったのです。

出来事	年
カーディスィーヤの戦い；ペルシャ軍が敗れる	ヒジュラ 15 年 / 西暦 636 年
アル＝マダーイン（キスラーの都）の開城	ヒジュラ 16 年 / 西暦 637 年
ニハーワンドの戦い、「勝利の中の勝利」	ヒジュラ 21 年 / 西暦 642 年
最後のキスラー、ヤズデギルド 3 世が殺される	ヒジュラ 31 年 / 西暦 651 年
ヤルムークの戦い；ローマがシャームを去る	ヒジュラ 15 年 / 西暦 636 年

キスラーの宝についてのアッラーの使徒 رضى الله عنه の予言を聞いたアディー・ブン・ハーティム ﵁ は、後にこう言いました：「**私は、フルムズの子キスラーの宝を開いた者たちの一人であった**」（『サヒーフ・ブハーリー』3595）。その宝は、ウマル رضى الله عنه の時代にアッラーの道のために費やされました。

ではカイサルはどうでしょうか。ローマのカイサルの称号は、コンスタンティノープルで何世紀も続きました。アン＝ナワウィーが『**サヒーフ・ムスリム注釈**』で伝えるところでは、イマーム・アッ＝シャーフィイーはその意味を、**イラクにもうキスラーはなく、シャームにもうカイサルはいない**と説明しました — そしてそのとおりになりました。ヤルムークの後、ヘラクレイオスはシャームを永遠に去ったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

預言者の証としての予言

アフザーブの連合軍に追い詰められたばかりの小さな国の指導者が、**世界の二大帝国の宝**が自分の従う者たちによってアッラーの道のために費やされると、確信をもって誓うところを想像してみてください。当時のどんな政治の分析家も、それを予想しなかったでしょう。しかし、それは告げられたとおりに起こり、まだ生きていた教友たちがそれを目撃したのです。

これはアッラーの約束の成就です：「**かれこそは、導きと真理の教えをもって使徒を遣わされ、凡ての教えの上にそれを顕現される御方である**」『イブン・カスィール注釈』48:28。

教訓：現実となったアッラーの使徒 ﷺ の予言は、歴史によって確かめることのできる**預言者の証**です。それはまた、**物質的な力は永遠ではない**ことも教えています。無敵に見えた帝国も、アッラーがお望みになれば崩れるのです。

ナジャーシー：誰も虐げない王

キスラーが書簡を引き裂いたのに対し、アビシニア（エチオピア）の王**ナジャーシー**は最も気高い応じ方をしました。**アスハマ**という名のこのナジャーシーは、ムスリムにとって見知らぬ人ではありませんでした。その約十五年前、かれはクライシュの迫害からアビシニアへ移住した**教友たちを保護した**のです。

スィーラ書によれば、アッラーの使徒 ﷺ が最初の移住先にアビシニアを選ばれたのは、そこに**誰も虐げない王**がいたからでした。クライシュが教友たちの引き渡しを求めてアムル・ブン・アル＝アースを送ったとき、ジャアファル・ブン・アビー・ターリブがマルヤム章を読み上げると、ナジャーシーはひげが濡れるほど泣き、預言者イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ と預言者ムハンマド ﷺ がもたらしたものは**同じ源から出ている**と言いました。

イブン・カスィールが述べるように、一部の注釈学者はこの節をナジャーシーとアビシニアの司祭たちに結びつけています：「**あなたはかれらが、使徒に下されたものを聞く時、…涙を目に溢れさせるのを見るであろう**」『イブン・カスィール注釈』5:83。

> **スィーラの注：ナジャーシーへの書簡**
>
> イブン・サアドは、アッラーの使徒 ﷺ のナジャーシーへの書簡は**アムル・ブン・ウマイヤ・アッ＝ダムリー**が届けたと伝えています。ナジャーシーはそれを敬意をもって受け取り、それを目の上に当て、王座から降りて、**イスラームに入ったことを宣言しました**。
>
> ナジャーシーはまた、アッラーの使徒 ﷺ の代理として、**ウンム・ハビーバとの婚姻の契約**を結びました。アビシニアにいたアブー・スフヤーンの娘であり、ナジャーシーは使徒に代わって婚資（マハル）を支払いました（『スナン・アビー・ダーウード』2107、アル＝アルバーニーはサヒーフと判定）。かれはまた、ジャアファルと教友たちを船で送り返し、かれらはハイバルに到着しました（第 16 巻）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参照：

イブン・サアド『大伝記集』；『スナン・アビー・ダーウード』2107。
https://sunnah.com/abudawud:2107

一人の王のための葬儀の礼拝

スィーラ書によれば、ナジャーシー・アスハマは**ヒジュラ 9 年**に亡くなりました。かれはアッラーの使徒 ﷺ に会ったことがなく、紅海の向こうの何千キロも離れた所に住んでいました。しかしアッラーは**その日のうちに**、その死を使徒に知らせられたのです。アブー・フライラ رضي الله عنه は語ります：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1245 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، قَالَ حَدَّثَنِي مَالِكٌ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، عَنْ سَعِيدِ بْنِ الْمُسَيَّبِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم نَعَى النَّجَاشِيَّ فِي الْيَوْمِ الَّذِي مَاتَ فِيهِ، خَرَجَ إِلَى الْمُصَلَّى، فَصَفَّ بِهِمْ وَكَبَّرَ أَرْبَعًا.

訳：

アブー・フライラ رضي الله عنه は伝えています。**アッラーの使徒 ﷺ は、ナジャーシーが亡くなったその日にその死を告げられた。使徒は礼拝所（ムサッラー）へ出て、人々と列を整え、四回タクビールを唱えられた。**

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール・ブン・アビー・ウワイス ← マーリク・ブン・アナス ← イブン・シハーブ・アッ＝ズフリー ← サイード・ブン・アル＝ムサイイブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』葬儀の書、ハディース第 1245 番；第 1333 番、第 3880 番にも；『サヒーフ・ムスリム』第 951 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1245

ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضي الله عنهما は、その日のアッラーの使徒 ﷺ の言葉を、ナジャーシーの**本当の名**も含めて伝えています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3877 番

حَدَّثَنَا أَبُو الرَّبِيعِ، حَدَّثَنَا ابْنُ عُيَيْنَةَ، عَنِ ابْنِ جُرَيْجٍ، عَنْ عَطَاءٍ، عَنْ جَابِرٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم حِينَ مَاتَ النَّجَاشِيُّ مَاتَ الْيَوْمَ رَجُلٌ صَالِحٌ، فَقُومُوا فَصَلُّوا عَلَى أَخِيكُمْ أَصْحَمَةَ.

訳：

ジャービル رضى الله عنه は言った：ナジャーシーが亡くなったとき、預言者 ﷺ は言われた：「**今日、一人の正しい人が亡くなった。立って、あなたがたの兄弟アスハマのために礼拝しなさい。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アッ＝ラビーウ・アッ＝ザフラーニー ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← イブン・ジュライジュ ← アターウ・ブン・アビー・ラバーフ ← ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』アンサールの美徳の書、ナジャーシーの死の章、ハディース第 3877 番；『サヒーフ・ムスリム』第 952 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3877

このハディースの教訓

アッラーの使徒 ﷺ はかれを「**あなたがたの兄弟**」、「**正しい人**」と呼ばれました。別の伝承では、使徒は言われました：「**あなたがたの兄弟のために赦しを請いなさい**」（『サヒーフ・ブハーリー』3880）。使徒に一度も会ったことのないアビシニアの王が、マディーナの教友たちの兄弟となったのです — **イスラームの兄弟愛**は、民族も肌の色も国境も越えるのです。

不在者のための葬儀の礼拝

この出来事は、**不在者のための葬儀の礼拝（サラート・アル＝ガーイブ）** — 別の場所で亡くなったムスリムのための葬儀の礼拝 — の根拠となりました。シャーフィイー派とハンバリー派の学者は一般にそれを認めていますが、他の一部の学者は、ナジャーシーのように**自国で誰も礼拝をささげる者がいない**場合に限っています。イブン・アル＝カイイムは『**ザード・アル＝マアード**』で後者の見解に傾いています。

アッラーの使徒 ﷺ は**礼拝所へ出て**、列を整え、四回タクビールを唱えられました — 通常の葬儀の礼拝と同じです。これは、ナジャーシーが使徒のもとでいかに高い位置にあったか、そして最も弱かった時にムスリムを守った**人の恩を**使徒がいかに重んじられたかを示しています。

イブン・カスィールは、一部の人々がアビシニアの王のために礼拝することを疑問視したとき、この節がナジャーシーについて下されたという伝承を挙げています：**「本当に啓典の民の中にも、アッラーを信じ、またあなたがたに下されたものを信じる者がいる」**『イブン・カスィール注釈』3:199。

もう一人のナジャーシー

アナス رضي الله عنه のハディース（『サヒーフ・ムスリム』1774）の一句に戻りましょう：「**このナジャーシーは、預言者 ﷺ が葬儀の礼拝をささげたナジャーシーではない。**」これはどういう意味でしょうか。

学者たちは、アッラーの使徒 ﷺ が**二人のナジャーシー**に書簡を書かれたと説明しています。一人目は、信仰して葬儀の礼拝をささげられた**アスハマ**です。アスハマの死後、アッラーの使徒 ﷺ は**その後継のナジャーシー**にも書簡を書き、イスラームへと招かれました — ムスリムの伝承でアナスが述べているのはこの書簡で、まだ信仰していない王たちへの書簡と並べて挙げられているからです。イブン・アル＝カイイムとイブン・ハジャルがこの説明を述べています。

スィーラ書は、二人目のナジャーシーがイスラームに入ったとは記録していません。この細部は**ハディース伝承者たちの綿密さ**を示しています。アナスは、同じ称号を持つ二人の王を読者が混同しないようにしたのです。教訓：**正確に伝えること**は、知識という預かりものの一部なのです。

エジプトの長官アル＝ムカウキス

当時エジプトはローマの支配下にあり、アレクサンドリアにいたその長官は**アル＝ムカウキス**と呼ばれていました。かれへの書簡の話は『サヒーフ・ブハーリー』や『サヒーフ・ムスリム』には見られませんが、スィーラ書で広く伝えられています：

スィーラの注：アレクサンドリアのハーティブ・ブン・アビー・バルタア

イブン・サアドとイブン・アブドゥル・ハカムは、**ハーティブ・ブン・アビー・バルタア**がアッラーの使徒 ﷺ の書簡をアル＝ムカウキスに届けたと伝えています。アル＝ムカウキスはそれを敬意をもって受け取り、象牙の箱にしまい、丁重な書簡で返答しました。かれは、預言者がまだ現れることを認めましたが、**イスラームには入りませんでした**。

かれは**贈り物**をアッラーの使徒 ﷺ に送りました。その中には、二人の女奴隷**マーリヤ**とその姉妹**スィーリーン**、衣服、そして後に**ドゥルドゥル**と名づけられた白いラバがありました。コプト人マーリヤは、**イブラーヒーム**の母となりました。アッラーの使徒 ﷺ の息子です。アル＝ムカウキスの本当の身元については、歴史家の間で意見が分かれています。

参照：

イブン・サアド『大伝記集』；イブン・アブドゥル・ハカム『エジプト征服史』；イブン・アル＝カイイム『ザード・アル＝マアード』。

Wikipedia「Muqawqis」。https://en.wikipedia.org/wiki/Muqawqis

イブラーヒーム、すなわちマーリヤから生まれたアッラーの使徒 ﷺ の息子の存在は、真正なハディースによって確かめられています。イブラーヒームが幼くして亡くなったとき、アッラーの使徒 ﷺ は涙を流して言われました：「**目は涙を流し、心は悲しむ。しかし私たちは、私たちの主がお喜びになることしか口にしない。イブラーヒームよ、本当に私たちはあなたとの別れを深く悲しんでいる**」（『サヒーフ・ブハーリー』1303）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：48 / 83

アッラーの使徒 ﷺ はエジプトについても遺言されました：「**あなたがたはエジプトを開くであろう……その住民によくしなさい。かれらには保護の権利と親族のつながりがあるからである**」（『サヒーフ・ムスリム』2543）。学者たちは、その「親族のつながり」とは、**ハージャル** — 預言者イスマーイール عَلَيْهِ السَّلَامُ の母 — と、イブラーヒームの母**マーリヤ**を指すと説明しています — 二人ともエジプトの出身でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アラブの王たち：ガッサーン、ヤマーマ、バハレーン、オマーン

大国のほかに、アッラーの使徒 ﷺ は半島の辺境にいる**アラブの王や支配者たち**にも書簡を書かれました。かれらの応じ方はさまざまで、これらの話は**スィーラ書**に由来します：

支配者と使者	応じ方（スィーラ書）
アル＝ハーリス・ブン・アビー・シャミル・アル＝ガッサーニー（シャーム）― シュジャーウ・ブン・ワフブ	激怒して書簡を投げ捨て、マディーナを攻めると脅した
ハウザ・ブン・アリー・アル＝ハナフィー（ヤマーマ）― サリート・ブン・アムル	権力の分け前を求めたが拒まれ、間もなく死去
アル＝ムンズィル・ブン・サーワー（バハレーン）― アル＝アラーウ・アル＝ハドラミー	多くの民と共にイスラームに入った
ジャイファルとアブド・ブン・アル＝ジュランダー（オマーン）― アムル・ブン・アル＝アース	話し合いの後にイスラームに入った；ヒジュラ 8 年

スィーラの注：ハウザと権力の要求

イブン・サアドは、ヤマーマの支配者ハウザが、従うならば**権力の一部**を与えてほしいと求める返書を送ったと伝えています。アッラーの使徒 ﷺ はそれを拒まれました。この事は**権力の取引のためのものではない**からです。ハウザはその後間もなく亡くなりました。ヤマーマは後に、嘘つきムサイリマが現れた地となりました。

参照：

イブン・サアド『大伝記集』；イブン・アル＝カイイム『ザード・アル＝マアード』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

バハレーンとザカートの書簡

イスラームに入ったバハレーンの人々は、その後**ザカートの規定**についての書簡を受け取りました。アブー・バクルによってバハレーンへ遣わされたアナス رضي الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ の指輪で押印された書簡を携えていました（『サヒーフ・ブハーリー』3106）。ラクダ、羊、銀のザカートの割合についてのその内容は、『サヒーフ・ブハーリー』1454 に伝えられています。宣教の書簡は、**行政とシャリーアの**書簡へと変わったのです。

教訓：宣教に対する人々の応じ方は**国の強さによるのではありません**。バハレーンとオマーンの小さな王たちは信仰し、大帝国の皇帝たちは拒みました。導きは権力によってではなく、真理を受け入れる**心の備え**によって量られるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

スマーマ・ブン・ウサール：品性にとらえられた指導者

ヤマーマの指導者**スマーマ・ブン・ウサール**の話は、指導者たちへの宣教のもう一つの方法を示しています。書簡によってではなく、**品性**によってです。アブー・フライラ رضى الله عنه は語ります：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4372 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، قَالَ حَدَّثَنِي سَعِيدُ بْنُ أَبِي سَعِيدٍ، أَنَّهُ سَمِعَ أَبَا هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ بَعَثَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم خَيْلاً قِبَلَ نَجْدٍ، فَجَاءَتْ بِرَجُلٍ مِنْ بَنِي حَنِيفَةَ يُقَالُ لَهُ ثُمَامَةُ بْنُ أُثَالٍ، فَرَبَطُوهُ بِسَارِيَةٍ مِنْ سَوَارِي الْمَسْجِدِ، فَخَرَجَ إِلَيْهِ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ مَا عِنْدَكَ يَا ثُمَامَةُ. فَقَالَ عِنْدِي خَيْرٌ يَا مُحَمَّدُ، إِنْ تَقْتُلْنِي تَقْتُلْ ذَا دَمٍ، وَإِنْ تُنْعِمْ تُنْعِمْ عَلَى شَاكِرٍ، وَإِنْ كُنْتَ تُرِيدُ الْمَالَ فَسَلْ مِنْهُ مَا شِئْتَ. حَتَّى كَانَ الْغَدُ ثُمَّ قَالَ لَهُ مَا عِنْدَكَ يَا ثُمَامَةُ. قَالَ مَا قُلْتُ لَكَ إِنْ تُنْعِمْ تُنْعِمْ عَلَى شَاكِرٍ. فَتَرَكَهُ حَتَّى كَانَ بَعْدَ الْغَدِ، فَقَالَ مَا عِنْدَكَ يَا ثُمَامَةُ. فَقَالَ عِنْدِي مَا قُلْتُ لَكَ. فَقَالَ أَطْلِقُوا ثُمَامَةَ، فَانْطَلَقَ إِلَى نَخْلٍ قَرِيبٍ مِنَ الْمَسْجِدِ فَاغْتَسَلَ ثُمَّ دَخَلَ الْمَسْجِدَ فَقَالَ أَشْهَدُ أَنْ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ، وَأَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّدًا رَسُولُ اللَّهِ، يَا مُحَمَّدُ وَاللَّهِ مَا كَانَ عَلَى الأَرْضِ وَجْهٌ أَبْغَضَ إِلَىَّ مِنْ وَجْهِكَ، فَقَدْ أَصْبَحَ وَجْهُكَ أَحَبَّ الْوُجُوهِ إِلَىَّ، وَاللَّهِ مَا كَانَ مِنْ دِينٍ أَبْغَضَ إِلَىَّ مِنْ دِينِكَ، فَأَصْبَحَ دِينُكَ أَحَبَّ الدِّينِ إِلَىَّ، وَاللَّهِ مَا كَانَ مِنْ بَلَدٍ أَبْغَضُ إِلَىَّ مِنْ بَلَدِكَ، فَأَصْبَحَ بَلَدُكَ أَحَبَّ الْبِلاَدِ إِلَىَّ، وَإِنَّ خَيْلَكَ أَخَذَتْنِي وَأَنَا أُرِيدُ الْعُمْرَةَ، فَمَاذَا تَرَى فَبَشَّرَهُ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَأَمَرَهُ أَنْ يَعْتَمِرَ، فَلَمَّا قَدِمَ مَكَّةَ قَالَ لَهُ قَائِلٌ صَبَوْتَ. قَالَ لاَ، وَلَكِنْ أَسْلَمْتُ مَعَ مُحَمَّدٍ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، وَلاَ وَاللَّهِ لاَ يَأْتِيكُمْ مِنَ الْيَمَامَةِ حَبَّةُ حِنْطَةٍ حَتَّى يَأْذَنَ فِيهَا النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم.

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った：**預言者 ﷺ はナジュドの方へ騎兵を遣わされた。**

かれらはバヌー・ハニーファの一人の男、ヤマーマの住民の長であるスマーマ・ブン・

ウサールを連れて来て、モスクの柱の一つに縛りつけた。預言者 ﷺ はかれのもとへ出て来て尋ねられた。「スマーマよ、あなたには何があるか。」かれは答えた。「ムハンマドよ、私には良いものがあります。もし私を殺すなら、血の報いを求められる者を殺すことになります。もし恩を施すなら、恩を知る者に恩を施すことになります。もし財産を望むなら、求めてください。」使徒は二日目と三日目にも尋ね、そして言われた：「**スマーマを放しなさい。**」スマーマは近くのナツメヤシ園へ行って沐浴し、モスクに入って二つの信仰告白を唱え、こう言った：「**ムハンマドよ、アッラーにかけて、かつて地上にあなたの顔ほど私が憎んだ顔はありませんでした。それが今では、あなたの顔は私にとって最も愛しい顔となりました……**」かれがマッカに着くと、ある者が言った。「あなたは背教したのか。」かれは答えた。「いいえ、私はアッラーの使徒ムハンマド ﷺ と共にイスラームに入ったのです。**アッラーにかけて、預言者 ﷺ が許されるまで、ヤマーマからは小麦一粒もあなたがたのもとに届かないであろう。**」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ ← アル＝ライス・ブン・サアド ← サイード・ブン・アビー・サイード・アル＝マクブリー ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、バヌー・ハニーファの使節とスマーマ・ブン・ウサールのハディースの章、ハディース第 4372 番；『サヒーフ・ムスリム』第 1764 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4372

このハディースの教訓

スマーマは捕らえられ、三日間モスクに縛られていました。そこでかれはムスリムの生活を**自分の目で見た**のです。かれらの礼拝、かれらの品性、そしてアッラーの使徒 ﷺ のかれへの扱いを。それからかれは**無条件で解放されました。**その寛大さは、かれを縛っていた縄よりも強くかれの心をとらえたのです。

かれの言葉に注目してください。**最も憎んでいた**顔、宗教、国が、**最も愛しいもの**となったのです。これが宣教における品性の力です。スマーマはその後、ヤマーマからマッカへの小麦の供給を止め、クライシュはアッラーの使徒 ﷺ に懇願しました — そしてスィーラ書によれば、使徒は、敵であってもマッカの住民への**憐れみ**から、供給を再開するようかれに求められたのです。

捕虜への扱い

クルアーンは捕虜によくする人々を称えています：「**またかれらは、かれ（アッラー）を愛するために、貧者と孤児と捕虜に食物を与える**」『イブン・カスィール注釈』76:8。

スマーマは捕虜であり敵でしたが、食べ物を与えられ、拷問されず、毎日丁寧に尋ねられました。アッラーの使徒 ﷺ はかれにイスラームを強いることなく、**かれを解放され**、自由になってから、かれは自ら進んでイスラームを選んだのです。これこそ、**宗教に強制はない**ことの証です。

教訓：最も効果のある宣教は、ときに言葉を必要としません。無力な者への、さらには敵への**寛大な心**は、固く閉ざされた心を開くことができるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

英知をもって招きなさい

アッラーの使徒 ﷺ のすべての書簡と使者は、アッラーが示された一つの方法に従っていました：「**英知と良い話し方で、（凡ての者を）あなたの主の道に招け**」『イブン・カスィール注釈』16:125。

そしてアッラーは、宣教者の務めの範囲を明らかにされました：「**仮令かれらが背き去るにしても、あなたの務めは、只（啓示を）かれらに伝えるだけである**」『イブン・カスィール注釈』3:20。

これらの節は、アッラーの使徒 ﷺ が誰にも強制されなかった理由を説明しています。使徒の務めは**はっきりと伝えること**であり、導きはアッラーのものです。キスラーは書簡を引き裂き、ヘラクレイオスは王座を選び、アル＝ムカウキスは贈り物を送りました—そしてアッラーの使徒 ﷺ は、かれらに信仰を強いるために戦いを起こされはしませんでした。

同時にアッラーは、啓示を**余すところなく**伝えるよう命じられました：「**使徒よ、あなたの主から、あなたに下された（啓示）を宣べ伝えなさい**」『イブン・カスィール注釈』5:67。

英知の要素	書簡の中の例
慣習を理解する	王は印章のない書簡を読まないので印章の指輪を作った
伝え手を選ぶ	ローマへはディフヤ、エジプトへはハーティブ
共通点から始める	啓典の民への 3:64 の節
称号を尊ぶ	「ローマの長」「コプトの長」
簡潔で明瞭	「イスラームに入りなさい、そうすれば安全である」
強制しない	書簡が拒まれても戦いはしない

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

指導者へのやさしい言葉

指導者への宣教の礼儀は、アッラーが預言者ムーサーとハールーン عَلَيْهِ السَّلَامُ に教えられたものです：「**あなたがた両人は、フィルアウンの許に行け。本当にかれは法外に振舞っている**」『イブン・カスィール注釈』20:43。

「**だがかれに優しく話しなさい。恐らくかれは訓戒を受け入れ、また（アッラーを）畏れるであろう**」『イブン・カスィール注釈』20:44。

自らを神と称したフィルアウンでさえ**やさしい言葉**で招かれるべきであったなら、他の王たちはなおさらです。アッラーの使徒 ﷺ の書簡はこの礼儀に従っていました。罵りも侮辱もなく、明確な呼びかけと地位への敬意だけがありました。

私たちへの教訓：指導者、上司、あるいは権力ある人に忠告するときは、**英知と礼儀**をもって行わなければなりません。乱暴に伝えられた真理は、その中身ではなく伝え方のせいで、しばしば拒まれてしまうのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

諸王への書簡の伝承の出典

王たちへの書簡の話は、確かさの度合いの異なる三種類の出典を通して私たちに届いています。本書は、読者が**何が確かで**、**何がよく知られているのか**がわかるよう、その三つを区別しています：

諸王への書簡の物語の典拠

クルアーン（6）

- 全人類への使徒（34:28；7:158）
- 万有への慈悲（21:107）
- 啓典の民との共通のことば（3:64）
- ローマの勝利（30:2–4）
- 英知をもって招く（16:125）
- 務めは伝えることだけ（3:20；5:67）

真正なハディース（8）

- すべての人びとに遣わされた
- 「ムハンマド・ラスールッラー」の銀の指輪
- すべての支配者への書簡
- ヘラクレイオスがアブー・スフヤーンに問う；書簡の内容
- キスラーが書簡を引き裂く
- その後にキスラーもカイサルもいない
- ナジャーシーのための不在者の葬儀の礼拝
- スマーマ・ブン・ウサール

スィーラ書（4）

- 一日に六人の使者
- アル＝ムカウキスとその贈り物
- アラブの王たち：ガッサーン、ヤマーマ、バハレーン、オマーン
- 息子の手によるキスラーの死

スィーラ書の話は、関連する章でその位置づけを説明している。

図 4：本書における諸王への書簡の話の出典の位置づけ。

物語	典拠と等級
すべての人への使徒；慈悲；共通のことば；ローマ；英知	クルアーン（34:28；7:158；21:107；3:64；30:2–4；16:125） — 確実

物語	典拠と等級
五つの特別な点；指輪；ヘラクレイオス；キスラー	『サヒーフ・ブハーリー』335、65、3106、7、4424、3121 — サヒーフ
すべての支配者への書簡；もう一人のナジャーシー	『サヒーフ・ムスリム』1774 — サヒーフ
不在者のための礼拝；スマーマ	『サヒーフ・ブハーリー』1245、3877、4372 — サヒーフ
ナジャーシーを通じたウンム・ハビーバとの婚姻	『スナン・アビー・ダーウード』2107 — サヒーフ
使者の名；バーザーン；アル＝ムカウキス；アラブの王たち	スィーラ書 — よく知られる；一部はムルサル

スィーラ書の話が必ずしも偽りであるわけではありません。信頼されたスィーラ学者たちが伝えたものです。しかし、それはクルアーンや真正なハディースと**同じ等級ではありません**。この電子書籍は、イスラーイーリーヤート（イスラエル伝承）や明らかに偽造された伝承は**含めていません**。

アッラーの使徒ﷺの使者たち：かれらは誰か

第6章では使者たちの名と旅の方向を挙げました。この章では、かれらをもっと身近に知ります。どの部族の出身か、どんな長所があったか、そしてその生涯はどのように終わったか。使者の選び方は偶然ではありませんでした。一人ひとりが、向かう国にふさわしい何かを携えていたのです。

使者	部族	遣わされた先	その他の情報
ディフヤ・ブン・ハリーファ・アル＝カルビー	カルブ族（クダーア）	ボスラの長官を通じてヘラクレイオスへ	『サヒーフ・ブハーリー』7で確認；美しい容貌で知られる
アブドゥッラー・ブン・フザーファ・アッ＝サフミー	クライシュ、バヌー・サフム	バハレーンの長官を通じてキスラーへ	『サヒーフ・ブハーリー』4424で確認；アビシニアへ移住した経験がある
アムル・ブン・ウマイヤ・アッ＝ダムリー	バヌー・ダムラ（キナーナ族）	ナジャーシー	スィーラ書
ハーティブ・ブン・アビー・バルタア	ラフム族の出身；バヌー・アサド・ブン・アブドゥル・ウッザー（クライシュ）の同盟者	アル＝ムカウキス	バドルの戦いの参加者；スィーラ書
シュジャーウ・ブン・ワフブ・アル＝アサディー	バヌー・アサド・ブン・フザイマ；バヌー・アブド・シャムスの同盟者	アル＝ハーリス・アル＝ガッサーニー	バドルの戦いの参加者；スィーラ書
サリート・ブン・アムル・アル＝アーミリー	クライシュ、バヌー・アーミル・ブン・ルアイイ	ハウザ・ブン・アリー（ヤマーマ）	アビシニアへ移住した経験がある；スィーラ書

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

使者	部族	遣わされた先	その他の情報
アル＝アラーウ・ブン・アル＝ハドラミー	ハドラマウトの出身；バヌー・ウマイヤの同盟者	アル＝ムンズィル・ブン・サーワー（バハレーン）	後にバハレーンの総督となる；スィーラ書
アムル・ブン・アル＝アース	クライシュ、バヌー・サフム	ジャイファルとアブド（オマーン）	ヒジュラ 8 年にイスラームに入る；後にエジプトを開く

最初の二人の名は真正なハディースで確かめられています。他は、よく知られたスィーラ書の情報です（イブン・サアド『大伝記集』；イブン・ヒシャーム；イブン・アル＝カイイム『ザード・アル＝マアード』）。各使者の部族は、イブン・ハジャルの『アル＝イサーバ』などの人物伝の書から取っています。

ディフヤ・アル＝カルビー：教友たちが見慣れた顔

ハディース：人の姿のジブリール

ウンム・サラマ رضي الله عنها は、自分が預言者 ﷺ と一緒にいたとき、ジブリールが預言者のもとに来たと伝えています。ジブリールは使徒と話し、それから去りました。預言者 ﷺ はウンム・サラマに尋ねられました。「これは誰か。」かの女は答えました。「ディフヤです。」ウンム・サラマは、預言者 ﷺ がジブリールについて告げる説教を聞くまで、その人をディフヤ以外の者だとは思わなかったと言いました。

等級：サヒーフ ― 『サヒーフ・ブハーリー』3634。

このハディースは、ディフヤの姿がマディーナで多くの人に知られていたことを示しています。かれはまた、シャームに近い北方に住むカルブ族の出身で、そこへ商いに行くことに慣れていました。容貌が美しく、弁が立ち、ローマの国をよく知る使者は、皇帝の前に立つのにふさわしい選択だったのです。

アブドゥッラー・ブン・フザーファ：問うことを恐れなかった教友

ハディース：「あなたの父はフザーファである」

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は、ある日アッラーの使徒 ﷺ が説教をして「私に尋ねなさい」と言われたと伝えています。するとアブドゥッラー・ブン・フザーファが立ち上がって尋ねました。「私の父は誰ですか。」使徒は答えられました。「あなたの父はフザーファである。」

等級：サヒーフ ― 『サヒーフ・ブハーリー』93。

イブン・ハジャルは『ファトフ・アル＝バーリー』で、一部の人々がかれの血筋を疑っていたためにアブドゥッラーは尋ねたのであり、アッラーの使徒 ﷺ の答えが人々の前でかれの心を安らがせたと説明しています。問うことを恐れなかったこの教友こそが、後に、当時最も傲慢な皇帝キスラーの前に立ったのです。

スィーラの注：ローマに捕らえられたアブドゥッラー・ブン・フザーファ

イブン・アサーキルの『ダマスカス史』などの歴史書は、カリフ・ウマル رضى الله عنه の時代に、アブドゥッラー・ブン・フザーファがローマ軍に捕らえられたと伝えています。ローマの王はイスラームを捨てるようかれを脅しましたが、かれは拒みました。最後に王は、アブドゥッラーが自分の頭に口づけするなら解放しようと言いました。アブドゥッラーは、ムスリムの捕虜全員を一緒に解放するという条件で同意し、王はそれを果たしました。この話がウマルに届くと、ウマルは、すべてのムスリムはアブドゥッラーの頭に口づけすべきだと言い、自らそれを始めました。

この話は歴史書からのもので、その伝承経路については学者たちの議論があり、真正なハディースの書には見られません。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

使者は殺されない

ハディース：使者の不可侵

ヌアイム・ブン・マスウード・アル＝アシュジャイー رضى الله عنه は、ムサイリマの二人の使者がかれの書簡を持って来たと伝えています。アッラーの使徒 ﷺ はかれらに尋ねられました。「あなたがた二人はどう考えるか。」かれらは答えました。「私たちもかれの言うとおりに言います。」使徒は言われました。「アッラーにかけて、使者は殺されないということがなければ、私はあなたがた二人の首をはねたであろう。」

等級：アル＝ハーキム（『アル＝ムスタドラク』）がサヒーフと判定 — 『スナン・アビー・ダーウード』2761。

今日、外交特権として知られるこの原則を、アッラーの使徒 ﷺ は偽預言者の使者に対してさえ守られました。反対に、使徒自身の使者たちは、いつも同じ扱いを受けたわけではありませんでした。スィーラ書によれば、使徒の使者アル＝ハーリス・ブン・ウマイル・アル＝アズディーはシュラフビール・ブン・アムル・アル＝ガッサーニーに殺され、その出来事がムウタの戦いの原因となりました（第 19 巻）。

アッラーの使徒 ﷺ は、マディーナに来た使者たちも尊ばれました。使徒の最後の遺言の一つはこうです：「私がしていたように、使節団に贈り物をしなさい」（『サヒーフ・ブハーリー』3053）。

教訓

使者はそれぞれの長所によって選ばれました。ディフヤはシャームを知り、アブドゥッラー・ブン・フザーファは勇敢で、ハーティブは話し上手、アムル・ブン・アル＝アースは交渉に長けていました。宣教でもどんな務めでも、ふさわしい人をふさわしい場所に置く必要があります。使者は遣わした者の名誉を背負っています。だから伝え手の品性は、伝える中身と同じほど大切なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

支配者たちからの贈り物

第 17 章では、スィーラ書によるアル＝ムカウキスの贈り物、コプト人マーリヤやラバのドゥルドゥルについて述べました。この章では、真正なハディースに伝えられている、非ムスリムの支配者たちからの他の贈り物と、かれらから贈り物を受け取ることの規定をまとめます。

ハディース：アイラの王からの白いラバ

アブー・フマイド・アッ＝サーイディー رضى الله عنه は言った：私たちはタブークの戦いで預言者 ﷺ と共に出かけた。アイラの王は預言者 ﷺ に白いラバを贈り、使徒に外套（ブルダ）を着せた。使徒はかれのために、その国に対するかれの支配を保つ協定の書面を書かれた。

等級：サヒーフ — 『サヒーフ・ブハーリー』3161。

ハディース：ウカイディルからの絹の外衣

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は、厚い絹の外衣が預言者 ﷺ に贈られたと伝えています。使徒は（男性の）絹を禁じておられました。人々はそれを見て驚きました。使徒は言われました。「ムハンマドの魂をその御手に握る御方にかけて、天国のサアド・ブン・ムアーズのハンカチは、これよりもすばらしい。」同じ伝承の中で、それを贈ったのはドゥーマの支配者ウカイディルであったと述べられています。

等級：サヒーフ — 『サヒーフ・ブハーリー』2615；2616 にも。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディース：断られた贈り物

イヤード・ブン・ヒマール رضي الله عنه は預言者 ﷺ にラクダを一頭贈りました。使徒は尋ねられました。「あなたはイスラームに入ったか。」かれは答えました。「まだです。」使徒は言われました。「本当に私は、多神教徒の贈り物を受け取ることを禁じられている。」

等級：アル＝アルバーニーによればハサン・サヒーフ — 『スナン・アビー・ダーウード』3057；『ジャーミウ・ティルミズィー』1577 にも。

これらの伝承を調和させる

イマーム・ブハーリーは『サヒーフ』の中に「多神教徒からの贈り物を受け取ること」という章を設け、アイラの王とウカイディルのハディースを収めました。イブン・ハジャルは『ファトフ・アル＝バーリー』で、受け取るハディースと断るハディースを学者たちが調和させるいくつかの方法を挙げています。心を和らげ、関係を深めるなど益をもたらす場合には贈り物を受け取り、真理を妨げる恩義を感じさせるおそれがある場合や、贈り主がムスリムと戦っている場合には断る、というものです。また一部の学者は、イヤードのハディースの禁止はより早い時期のもので、その後許されたと考えています。

贈り物	贈り主	典拠と等級
白いラバと外套（ブルダ）	アイラの王（タブーク、ヒジュラ 9 年）	『サヒーフ・ブハーリー』3161 — サヒーフ
厚い絹の外衣	ドゥーマの支配者ウカイディル	『サヒーフ・ブハーリー』2615 — サヒーフ
マーリヤ、スィーリーン、衣服、ラバのドゥルドゥル	エジプトのアル＝ムカウキス	スィーラ書 — よく知られる
ラクダ（断られた）	イスラーム以前のイヤード・ブン・ヒマール	『スナン・アビー・ダーウード』3057 — ハサン・サヒーフ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓

イスラームは、非ムスリムとの良い関係の扉を閉ざしません。アッラーの使徒 ﷺ は王たちの贈り物を受け取り、協定の書面で応え、使者たちを尊ばれました。しかし贈り物で原則を買うことはできません。贈り物が心を真理から縛りつける道具とされるなら、それは断られます。目を見張る絹の外衣でさえ、天国のより大きな恵みを思い起こさせるものにすぎなかったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

書記たちと書簡の言語

アッラーの使徒 ﷺ は読み書きのできない預言者でした（第 5 章）が、整った文書の役所を築かれました。啓示の書記、書簡の書記、協定の書記、そして通訳がいました。この章では、ペンの陰にいた人々を見ていきます。

ハディース：ユダヤ人の文字を学んだザイド・ブン・サービト

ザイド・ブン・サービト رضي الله عنه は言った：アッラーの使徒 ﷺ は、使徒のためにユダヤ人の文字を学ぶよう私に命じられた。使徒は言われた。「アッラーにかけて、私は自分の書簡についてユダヤ人を信用しない。」そこで半月もたたないうちに、私はそれを習得した。その後、使徒がユダヤ人に書かれるときは私がかれらに書き、かれらが使徒に書いて来るときは私がその書簡を使徒に読んで差し上げた。

等級：ハサン ― 『ジャーミウ・ティルミズィー』2715。イマーム・ブハーリーも、裁きの書の「裁判官のための通訳」の章で、その意味を注記（タアリーク）の形で述べている。

半月のうちに、一人のアンサールの若者が、宣教と国の安全のために外国語の文字を習得したのです。ザイドのこの熱意こそが、後にアブー・バクル رضي الله عنه の時代に、クルアーンを集める信頼された人物にかれをしたのです。

ヘラクレイオスの宮廷の通訳

アッラーの使徒 ﷺ の書簡はアラビア語で書かれていました。ヘラクレイオスの宮廷では、アブー・スフヤーンとの対話は通訳を通して行われました。ヘラクレイオスは通訳を呼び、問いと答えのすべてがその通訳を通して伝えられたのです（『サヒーフ・ブハーリー』7）。これは、双方が互いの言葉を尊重し、メッセージが正確に届いたことを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

書記たち — アッラーの使徒 ﷺ

書記	伝えられている務め	典拠
ザイド・ブン・サービト	啓示；ユダヤ人への書簡	『ジャーミウ・ティルミズィー』2715；『サヒーフ・ブハーリー』4986
アリー・ブン・アビー・ターリブ	フダイビーヤの和約を書く	『サヒーフ・ブハーリー』2699（第 15 巻）
ムアーウィヤ・ブン・アビー・スフヤーン	イスラームに入った後の書記	『サヒーフ・ムスリム』2501
ウバイイ・ブン・カアブ	啓示	スィーラ書
アブドゥッラー・ブン・アル＝アルカム	王や支配者への書簡	スィーラ書

『サヒーフ・ムスリム』2501 のハディースでは、アブー・スフヤーンがイスラームに入った後に三つのことを願い出ており、その一つは息子ムアーウィヤをアッラーの使徒 ﷺ のそばの書記にすることで、使徒はそれを聞き入れられました。より詳しい書記の一覧はスィーラ書にあり、イブン・アル＝カイイムの『ザード・アル＝マアード』などは二十を超える名を挙げています。

教訓

普遍的な宣教には技能が必要です。書くこと、読むこと、そして他の人々の言葉を理解することです。アッラーの使徒 ﷺ は、大切な事を信頼できない者に頼ることを許されず、自ら人を育てられました。今日のウンマにとって、言葉とコミュニケーションの技能を学ぶことは、イスラームを伝えるという預かりものの一部なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

今日発見されている書簡の写本

多くの読者がこう尋ねます。アッラーの使徒 ﷺ の書簡の原本は今も残っているのか、と。使徒の書簡とされる写本のいくつかは、実際に今日展示されています。しかしその真正性には議論があり、本書は慎重にそれを取り上げます。

歴史の注：アル＝ムカウキスへの書簡

近代の歴史記録によれば、アル＝ムカウキスへの書簡を含む一枚の皮紙が、西暦 1858 年、エジプトのアフミームにある古いキリスト教修道院で、コプト語の書物の間から発見されました。それはフランスの東洋学者によって持ち出され、後にスルタン・アブデュルメジト 1 世が買い取りました。今日それは、イスタンブールのトプカプ宮殿博物館の聖遺物の部門に保管されています。

参照：Wikipedia「Al-Muqawqis」；Wikipedia「Seal of Muhammad」。

このほか、バハレーンのアル＝ムンズィル・ブン・サーワーへの書簡やナジャーシーへの書簡とされる写本も近代の研究で公刊されており、オマーンの王たちへの書簡とされるものは、それがヒジュラ 8 年に書かれたと見なすオマーン国立博物館に展示されています。

写本	今日の所在	評価
アル＝ムカウキスへの書簡	イスタンブール、トプカプ宮殿博物館	見解が分かれるもの
アル＝ムンズィル・ブン・サーワーへの書簡	近代の研究で公刊	見解が分かれるもの
ナジャーシーへの書簡	近代の研究で公刊	見解が分かれるもの
オマーンの王たちへの書簡	オマーン国立博物館	見解が分かれるもの
キスラーへの書簡	キスラーが引き裂いた（『サヒーフ・ブハーリー』4424）	—

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

研究者たちの見解

ムハンマド・ハミードゥッラー博士などのムスリム研究者の一部は、これらの写本を調べ、文字、素材、内容をスィーラの伝承と比べたうえで、その一部は本物かもしれないと考えました。一方、近代の歴史家の一部は、写本の伝来の経緯がはっきりせず、そのような文字は後の人がまねて書くこともできるとして、その真正性を疑っています。

トプカプの写本の印章は三行に並んでおり、『サヒーフ・ブハーリー』3106（第 4 章）にあるアッラーの使徒 ﷺ の指輪の特徴に似ていると言う人もいます。しかし、指輪の特徴はよく知られていてまねることができるため、この類似だけでは真正性の証明にはなりません。それゆえ本書は、どの写本についても真正であると断定しません。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ の書簡についての私たちの信仰は、博物館にある一枚の皮紙に頼るものではありません。私たちはそれを、『サヒーフ・ブハーリー』7 や『サヒーフ・ムスリム』1774 のように、途切れない伝承経路で伝えられた真正なハディースによって知っているのです。写本は関心と実感を深めてくれるかもしれませんが、宗教を守るのは遺物ではなく、伝承経路と知識なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

諸王への書簡の年表

この表は、このシリーズの出来事とその結末を並べたものです。スィーラ書の日付はおおよそのもので、出典によって違いがあります。

時期	出来事	典拠
ヒジュラ暦6年ズル＝カアダ月	フダイビーヤの和約；休戦が始まる	『サヒーフ・ブハーリー』2731
ヒジュラ6年末	「ムハンマド・ラスールッラー」の銀の指輪が作られる	『サヒーフ・ブハーリー』65；時期はスィーラ書による
ヒジュラ7年ムハッラム月	六人の使者が同じ日に出発	イブン・サアド
ヒジュラ7年	イーリヤーでアブー・スフヤーンがヘラクレイオスに問いただされる	『サヒーフ・ブハーリー』7
ヒジュラ7年	キスラーが書簡を引き裂く；祈り ― アッラーの使徒 🕊	『サヒーフ・ブハーリー』4424
ヒジュラ7年	ナジャーシー・アスハマが書簡を受け取る；ウンム・ハビーバとの婚姻	『スナン・アビー・ダーウード』2107；スィーラ書
ヒジュラ7年	アレクサンドリアのハーティブ；アル＝ムカウキスの贈り物	スィーラ書
ヒジュラ7年	アル＝ハーリス・アル＝ガッサーニーが激怒；ハウザが権力を求める	スィーラ書
ヒジュラ8年	バハレーンのアル＝ムンズィルとオマーンの王たちがイスラームに入る	スィーラ書
ヒジュラ8年ラマダーン月	マッカ征服の際にアブー・スフヤーンがイスラームに入る	『サヒーフ・ブハーリー』4280
ヒジュラ9年ラジャブ月	タブークの際、アイラの王とウカイディルが贈り物をする	『サヒーフ・ブハーリー』3161、2615

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

時期	出来事	典拠
ヒジュラ 9 年	ナジャーシー・アスハマの死；不在者のための葬儀の礼拝	『サヒーフ・ブハーリー』1245、3877
ヒジュラ 10 年	ムサイリマの使者は殺されなかった	『スナン・アビー・ダーウード』2761
ヒジュラ 15〜16 年	ヤルムークとアル＝マダーイン；キスラーの宝が開かれる	歴史；『サヒーフ・ブハーリー』3121、3595
西暦 1858 年	アル＝ムカウキスへの書簡の写本がアフミームで発見される	近代の歴史

研究者たちが論じている点が一つあります。イスラーム以外の歴史資料は、ホスロー2 世が西暦 628 年 2 月、つまり通常の計算ではヒジュラ 7 年ムハッラム月より前に廃位されたと述べています。一部の研究者は、キスラーへの書簡は他の六人の使者より早く送られた、あるいはスィーラ書の日付はおおよそのものだと考えています。真正なハディース自体は、その日付を述べていません。

教訓

フダイビーヤからタブークまでのおよそ三年のうちに、イスラームの呼びかけはローマ、ペルシャ、アビシニア、エジプト、そしてアラビア半島全体に届きました。計画と誠実さと忍耐をもって努力がなされるとき、その実りは人の予想を超えることがあるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

諸王への書簡についてのよくある質問

1. アッラーの使徒ﷺの書簡を受け取った支配者は何人ですか。

真正なハディースは、使徒がキスラー、カイサル、ナジャーシー、そして「権力を持つすべての支配者」に書簡を書かれたと述べています（『サヒーフ・ムスリム』1774）。スィーラ書は、少なくとも八人の支配者の名を挙げています（第 6 章と第 22 章）。

2. 書簡は何語で書かれましたか。

アラビア語です。ヘラクレイオスは通訳を通してアブー・スフヤーンと話しました（『サヒーフ・ブハーリー』7；第 24 章）。

3. 指輪はなぜ金ではなく銀だったのですか。

金はムスリムの男性が身につけることを禁じられているからです。アッラーの使徒ﷺは禁じられる前に金の指輪をはめておられましたが、その後それを捨てて銀の指輪をはめられました（『サヒーフ・ブハーリー』5865、5866）。

4. ヘラクレイオスはイスラームに入りましたか。

学者たちの意見は分かれています。『サヒーフ・ブハーリー』7 から明らかなのは、かれが王座を優先したということで、かれの心の事はアッラーに委ねられます（第 11 章）。

5. 葬儀の礼拝がささげられたナジャーシーは、『サヒーフ・ムスリム』1774 で書簡を受け取ったナジャーシーと同じですか。

いいえ。アナスは、そのハディースのナジャーシーは葬儀の礼拝がささげられたナジャーシーではないと明言しています。葬儀の礼拝がささげられたのはアスハマです（『サヒーフ・ブハーリー』3877；第 16 章）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

6. アッラーの使徒ﷺは書簡を拒んだ王と戦われましたか。

書簡を拒んだことだけを理由に戦われたことはありません。キスラーは書簡を引き裂きましたが、使徒はただ祈られただけでした。スィーラ書によれば、ムウタでのローマとの戦いは、使徒の使者が殺された後に起こりました（第 22 章；第 19 巻）。

7. ムスリムは非ムスリムから贈り物を受け取ってもよいのですか。

よいのです。アッラーの使徒 ﷺ はアイラの王とウカイディルの贈り物を受け取られました（『サヒーフ・ブハーリー』3161）。宗教に害をもたらすおそれがある場合には断ります（第 23 章）。

8. ヘラクレイオスへの書簡にある「アリースィーユーン」とは誰のことですか。

イブン・ハジャルは『ファトフ・アル＝バーリー』で、それは農民や一般の民を意味すると説明しています。もしヘラクレイオスがかれらを真理から妨げるなら、かれがその罪を負うことになるのです（第 10 章）。

9. トプカプ博物館の書簡は本物ですか。

研究者の間で議論があります。本書はそれを断定せず、真正な伝承に依拠しています（第 25 章）。

10. アブー・スフヤーンはなぜヘラクレイオスの前で嘘をつかなかったのですか。

一行の者たちに自分が嘘をついたと報告されるのを恥じたと、かれ自身が認めています（『サヒーフ・ブハーリー』7）。アラブにとって嘘は大きな恥でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

11.「かれの後にキスラーはいない」という予言はなぜ大切なのですか。

それはムスリムがまだ小さな共同体だったときに語られ、二十年も経たないうちに現実となったからです。それは歴史によって確かめることのできる預言者の証です（『サヒーフ・ブハーリー』3121；第 14 章）。

12. 今日、これらの書簡の教訓をどう実践すればよいのですか。

イスラームを簡潔かつ明瞭に、相手が理解する言葉で、招く相手の地位を尊びながら伝えること、そして人々への生きた「書簡」となる品性をもつことによってです（第 20 章と第 28 章）。

教訓

これらの質問は、クルアーン、真正なハディース、スィーラ書の伝承、近代の歴史研究、そして学者の見解を区別することの大切さを示しています。そうすることで、私たちは確かな教訓を受け取り、一つひとつの情報をあるべき場所に置くことができるのです。

教訓と結び

諸王への書簡は、イスラームがアラビア半島から世界の舞台へ**踏み出した**瞬間でした。「ムハンマド・ラスールッラー」と押印された数枚の書簡によって、唯一神信仰の呼びかけは、ローマ、ペルシャ、アビシニア、エジプトの宮殿にまで届いたのです。

教訓	諸王への書簡から
すべての人々への啓示	「私はすべての人びとに遣わされた」
英知ある宣教	印章の指輪、ふさわしい使者、3:64 の節
敵が証言した誠実さ	ヘラクレイオスへのアブー・スフヤーンの答え
受け入れを伴わない知識	ヘラクレイオスは王座を選んだ
傲慢は滅びをもたらす	キスラーとその王国は引き裂かれた
国境のない兄弟愛	「あなたがたの兄弟アスハマのために礼拝しなさい」
品性が心をとらえる	スマーマは解放され、そして信仰した
務めは伝えることだけ	強制はない；導きはアッラーのもの

私たちの暮らしの中の書簡

今日、私たちが皇帝に書簡を書くことはありませんが、誰もが自分なりの方法で「使者」となることができます — 職場での**品性**、取引での**誠実さ**、そして宗教の異なる隣人への**良い言葉**によって。アッラーの使徒 ﷺ の書簡のように、私たちの宣教も、簡潔で、明瞭で、敬意に満ち、憐れみから生まれるものでなければなりません。

イン・シャー・アッラー、**預言者伝（スィーラ）**シリーズは**第 18 巻** — 諸王への書簡の後の出来事 — へと続きます。アッラーこそが最もよくご存じです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

聖クルアーン、ウスマーン版のアラビア語本文と三田了一訳。https://quran.com/ms

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（イムラーン家章 3:20、3:64、3:199；食卓章 5:67、5:83；蜜蜂章 16:125；ビザンチン章 30:2–4；サバア章 34:28）。https://tafsir.app/ibn-katheer/3/64

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』7、16、65、97、335、1245、1303、1454、2941、3106、3121、3595、3877、3880、4372、4424、4425、5879。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1773、1774、2543。https://sunnah.com/muslim

『スナン・アビー・ダーウード』2107。https://sunnah.com/abudawud:2107

スィーラと歴史の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）— アッラーの使徒 ﷺ の使者たちの章。

イブン・サアド『大伝記集』— アッラーの使徒 ﷺ の書簡の章；アッ＝タバリー『諸使徒と諸王の歴史』。

イブン・アル＝カイイム『ザード・アル＝マアード』— 預言者 ﷺ の書簡と使者の節。

サフィーユッラフマーン・アル＝ムバーラクフーリー『封印された蜜（アッ＝ラヒーク・アル＝マフトゥーム）』— 諸王への書簡の章。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』— 啓示の始まりの書；アン＝ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

一般の歴史

Wikipedia, “Heraclius”. https://en.wikipedia.org/wiki/Heraclius

Wikipedia, “Khosrow II”. https://en.wikipedia.org/wiki/Khosrow_II

Wikipedia「Ashama ibn Abjar」。https://en.wikipedia.org/wiki/Ashama_ibn_Abjar

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

Wikipedia「Muqawqis」。https://en.wikipedia.org/wiki/Muqawqis

Wikipedia「Byzantine–Sasanian war of 602–628」。
https://en.wikipedia.org/wiki/Byzantine%E2%80%93Sasanian_war_of_602%E2%80%93628

Wikipedia「Muhammad's letters to the heads of state」。
https://en.wikipedia.org/wiki/Muhammad%27s_letters_to_the_heads_of_state

ハディースと追加の典拠

『サヒーフ・ブハーリー』3634（ディフヤの姿のジブリール）。
https://sunnah.com/bukhari:3634

『サヒーフ・ブハーリー』93（アブドゥッラー・ブン・フザーファが父について尋ねる）。https://sunnah.com/bukhari:93

『スナン・アビー・ダーウード』2761（使者は殺されない）。
https://sunnah.com/abudawud:2761

『サヒーフ・ブハーリー』3053（使節団への贈り物）。https://sunnah.com/bukhari:3053

『サヒーフ・ブハーリー』3161（アイラの王の贈り物）。https://sunnah.com/bukhari:3161

『サヒーフ・ブハーリー』2615、2616（ウカイディルからの外衣）。
https://sunnah.com/bukhari:2615

『スナン・アビー・ダーウード』3057（多神教徒の贈り物を断る）。
https://sunnah.com/abudawud:3057

『ジャーミウ・ティルミズィー』2715（ユダヤ人の文字を学んだザイド・ブン・サービト）。https://sunnah.com/tirmidhi:2715

Wikipedia「Al-Muqawqis」（トプカプの書簡の写本）。https://en.wikipedia.org/wiki/Al-Muqawqis

Wikipedia「Seal of Muhammad」。https://en.wikipedia.org/wiki/Seal_of_Muhammad

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

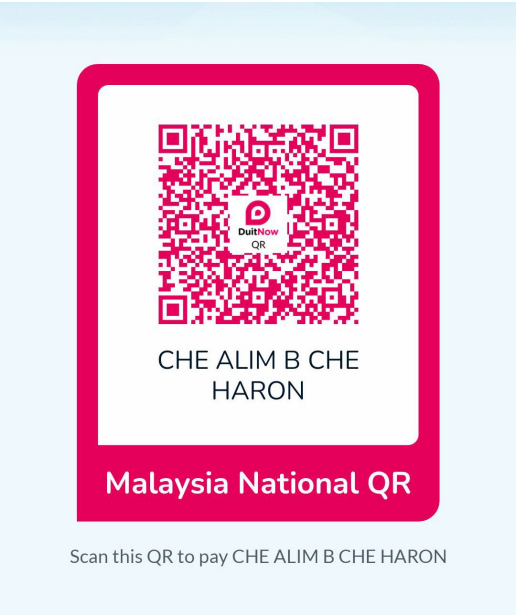
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

寄付する

海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience